

事 業 概 要

令和 6 年度版



東 京 都 立 図 書 館

令和 6 年 7 月

事業概要 令和6年度版 目次

I 組織概要	
1 東京都立図書館運営方針	1
2 東京都立図書館運営組織図	3
3 東京都立図書館事務分掌	4
II 主要事業	
1 令和6年度 主要事業	5
2 令和5年度 主要事業報告	6
III 予算・決算	
1 令和6年度 予算	9
2 令和5年度 決算	10
IV 統計資料（令和6年3月31日現在）	
1 所蔵状況	11
2 オンラインデータベース・電子書籍の導入状況	12
3 図書館資料収集・整理統計	13
4 利用統計資料（令和5年度実績）	14
(1) 利用状況	14
(2) 登録利用者数	15
(3) レファレンス件数	15
(4) 書庫内資料利用冊数	16
(5) 情報リテラシー支援件数	16
(6) 政策立案支援サービス件数	16
(7) 特別文庫室利用状況	17
(8) 音声・映像資料利用状況	17
(9) 視覚障害者等サービス状況	17
(10) 協力貸出状況	17
(11) 多摩図書館 16ミリフィルム等の貸出数	18
(12) ホームページ利用状況	18
(13) チャットボット利用状況	18
(14) 多摩図書館 セミナールーム使用状況	18
V 事業実績（令和5年度）	
1 展示等の事業（展示・講演会等）	19
2 区市町村立図書館職員等への研修等	24
3 学校教育活動への支援事業	26
4 職員研修等	28
5 刊行物及びホームページでの情報提供	29
VI 所蔵コレクションの紹介	
1 中央図書館	30
(1) 特別文庫室資料 (2) 東京資料 (3) 海外資料	
2 多摩図書館	32
(1) 山本有三文庫 (2) 雑誌創刊号コレクション (3) 児童・青少年資料	
VII 東京都立図書館協議会	33
VIII 資料	
1 東京都立図書館館則	35
2 東京都立図書館沿革	38
3 図書館関係団体・組織一覧	42
4 東京都立図書館ネットワーク概念図	43
5 東京都立図書館シンボルマーク	44
6 ホームページ及びソーシャルメディア	44
7 フロア概要	45
(1) 中央図書館	45
(2) 多摩図書館	48
8 案内図	50

I 組織概要

1 東京都立図書館運営方針

平成 14 年 4 月 1 日

一部改正 平成 18 年 5 月 22 日

一部改正 平成 21 年 3 月 25 日付 20 中図管企第 445 号

東京都立図書館（中央図書館及び多摩図書館をいう。以下「都立図書館」という。）は、情報通信技術が飛躍的に進展する 21 世紀にふさわしい、広域的・総合的情報拠点として、首都東京の中核的公立図書館の役割を担い、図書館資料及び図書館内外の情報の整備・充実に努め、都民及び利用者に対し、等しく良質な図書館サービスを提供することにより、東京の社会、経済、産業、教育、文化等の発展に貢献する。

また、都立図書館は、区市町村立図書館との役割分担のもとに、都内公立図書館、学校及び同種施設等と連携協力し支援を図ることにより、東京の図書館サービス全体の向上に寄与する。

これらを目的として、都立図書館の運営及びサービスに関する事業の方針を定める。

【基本方針】

- 1 都立図書館は、中央図書館を統括機能の有する中心館とし、多摩図書館を合わせて一体的な運営を行うとともに、各館が機能及びサービスを分担する。
- 2 都立図書館は、図書館サービス指標を設け、効率性、効果性、迅速性等の経営的視点を重視した運営及び事業を展開する。
- 3 都立図書館は、来館者、非来館者を問わず、都民及び利用者が高度・高品質な情報サービスを享受できるようサービス提供環境を整備し、利用者の多様な学習活動や調査研究活動を支援する。
- 4 都立図書館は、資料の継続的、網羅的な収集を行うとともに、適切な資料管理を行い、将来にわたる利用のため図書館資料の長期的保存を図る。
- 5 都立図書館は、都内公立図書館や学校等への協力支援を行うとともに、都内公立図書館の相互協力ネットワーク化を促進する。
- 6 都立図書館は、図書館未整備地域に対し、補完サービスを行う。

【具体的方針】

（運営全般に関すること）

- 1 事業の実施に当たっては、本運営方針に則り、必要な要綱、基準等を定めるほか、各年度毎に主要事業計画を定める等計画的な運営を図る。

- 2 運営及びサービスの実施に当たっては、都民及び利用者のニーズ把握に努めるとともに、自己評価や経営指標等の手法を取り入れ、事業について不断の見直し、改善を図る。
- 3 事業執行に当たっては、必要に応じて、専門委員会、プロジェクトチームを設置し、迅速かつ柔軟な実施を図る。
- 4 都立図書館の職員に対し、専門性を高め、サービス向上を図るために必要な研修を行う。また、職員の資質と能力の向上を図るため他団体への派遣等の機会を設ける。
- 5 図書館サービスの普及と利用の啓発を図るために、情報通信技術等を活用し、都民、図書館及びその他関係諸機関に対し、積極的な広報、PR 活動を行う。

(情報サービスに関すること)

- 6 紙媒体資料とともに図書館内外の電子媒体情報等を整備し、広範で、多様な情報サービスを迅速かつ的確に提供する。
- 7 電子図書館の実現に取り組むとともに、情報通信技術の進展と都民の生活行動様式の変化に対応し、利便性の高い図書館サービスの展開を図る。
- 8 図書館利用支援サービスを充実させ、都民の情報リテラシー支援を図る。
- 9 視覚障害者、聴覚障害者、高齢者及び外国人等にも配慮した利用環境の整備を図る。
- 10 子供をはじめとする読書活動推進のための事業を行うとともに、都内公立学校等と連携して、学校教育に対する協力事業や地域の教育力を高める図書館サービスの支援を図る。
- 11 都の政策立案や実施に対して積極的に支援する。
- 12 社会活動や経済、産業活動等の活性化を支援する情報サービスを行う。

(資料管理に関すること)

- 13 図書館資料は、原則として1資料1点を収集し、将来にわたる利用のため長期的保存を図る。
- 14 書庫は、計画的に管理し、収集、保存、除架、再活用を適切に行うとともに、新たな媒体変換等による情報の長期的保存についても検討する。
- 15 一般には入手困難な専門書や行政資料等の積極的な収集を図る。

(協力支援に関すること)

- 16 都内公立図書館に対し、協力レファレンス、協力貸出、研修等多様な協力事業の展開を図るとともに、区市町村相互間の協力体制の整備を支援する。
- 17 東京都関係機関の図書館及び各種図書館等との連携、相互協力の構築を推進する。また、図書館関係団体等との連絡調整を行い、図書館サービスの発展向上を図る。
- 18 図書館未整備地域からの要望に応じ、資料や情報の提供を行う。

附 則

(施行期日)

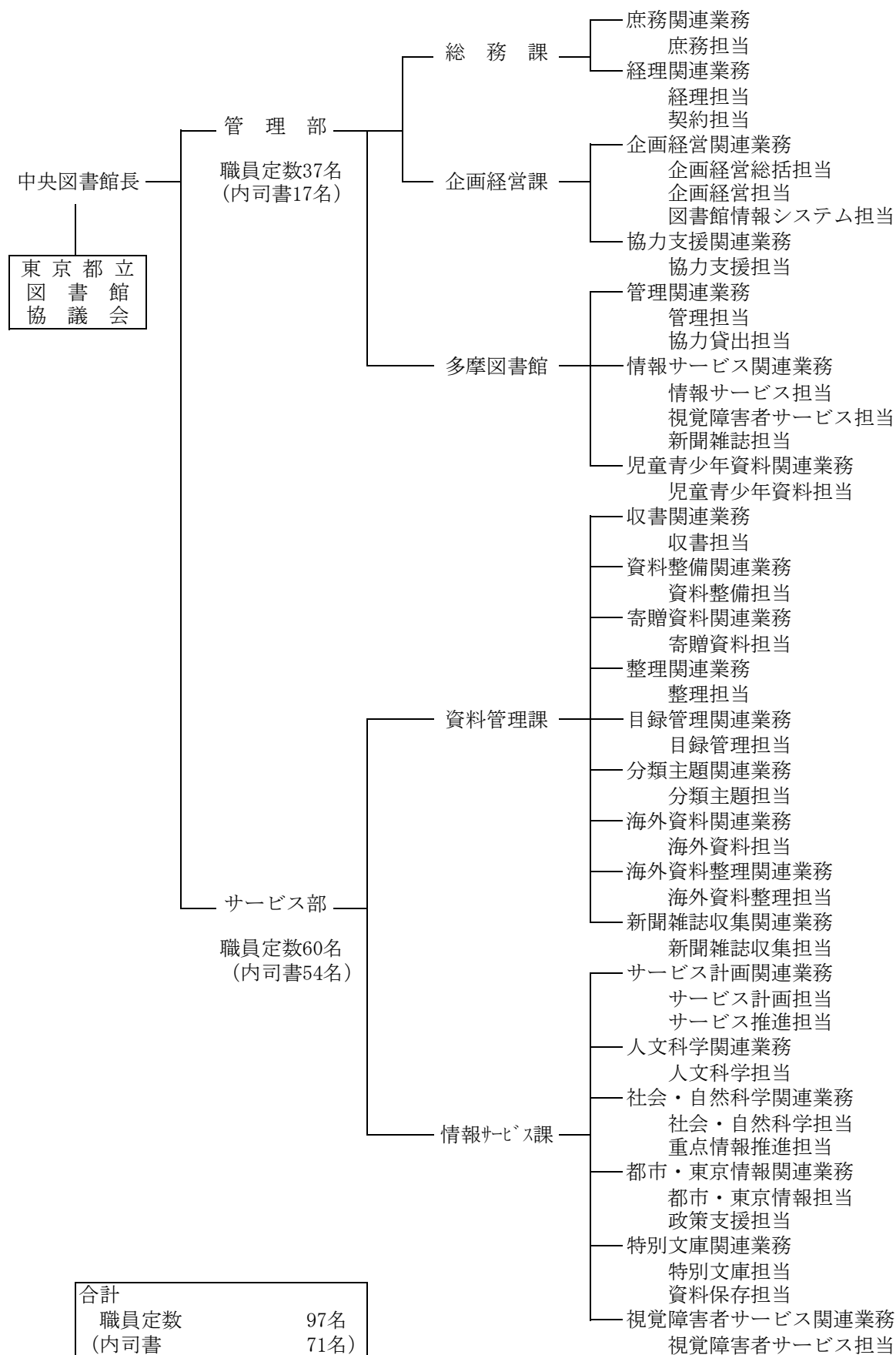
- 1 この方針は、平成14年4月1日から施行する。
- (東京都立中央図書館運営方針の廃止)
- 2 「東京都立中央図書館運営方針(47日図発第234号)」は廃止する。
- (東京都立多摩図書館運営方針の廃止)
- 3 「東京都立多摩図書館運営方針(61教社計多第111号)」は廃止する。

附 則

この方針は、平成21年4月1日から施行する。

2 東京都立図書館運営組織図

(令和6年4月1日現在)



3 東京都立図書館事務分掌

担当部署		業務内容
管理部	総務課	中央図書館及び多摩図書館（以下都立図書館）の公文書に関する統括 中央図書館の公文書の管理
		都立図書館所属職員の人事・給与（他の課等において処理するものを除く）
		都立図書館の予算・決算・会計（他の課等において処理するものを除く）
		多摩図書館の統括・連絡・調整
		中央図書館の施設及び設備の維持管理
		中央図書館の館内の取締り
		中央図書館内他の部課に属さないこと
	企画経営課	都立図書館の企画・経営計画の策定・運営の統括
		都立図書館の広報・統計・調査の統括、中央図書館の広報・統計及び調査
		東京都立図書館協議会に関すること
		都立図書館の情報通信技術活用の推進に関すること
		図書館情報システムの運営
		都内公立図書館・その他の図書館等、都内公立学校等に対する協力支援
		図書館に関する関係機関・関係団体等との連絡調整
		図書館未整備地域に対する補完サービスに関すること
		都立図書館の館報等の編集及び発行
		図書館職員等の研修
		海外の図書館等との交流に関すること
	多摩図書館	多摩図書館の庶務
		多摩図書館の公文書の管理
		多摩図書館の広報・統計・調査
		多摩図書館のサービス計画に関すること
		多摩図書館の図書館資料の選定・収集・整理・保存
		多摩図書館の図書館資料の利用に関すること
		雑誌・児童資料・青少年資料等に係る都内公立図書館等への協力支援
		多摩図書館の図書館資料の情報サービスに関すること
		多摩図書館における視覚障害者等に対する資料の音訳及び録音等に関すること
		多摩図書館の図書館資料等の複写に関すること
		東京都立図書館条例別表に掲げる施設及び附帯設備の貸出しに関すること
		都内公立図書館等その他視聴覚関係機関に対する視聴覚資料に係る館外貸出し
		多摩図書館の利用案内に関すること
		多摩図書館の施設及び設備の維持管理
		多摩図書館の館内の取締り
サービス部	資料管理課	都立図書館の資料管理計画に関すること
		都立図書館の資料管理に関すること
		都立図書館の図書館資料の選定・収集（他の課等において処理するものを除く）
		都立図書館の図書館資料の整理基準に関すること
		都立図書館の図書館資料の整理・保存（他の課等において処理するものを除く）
		都立図書館の図書館資料の製本等、資料保全に関すること （他の課等において処理するものを除く）
		部内他の課に属さないこと
	情報サービス課	都立図書館の情報サービス計画に関すること
		中央図書館の図書館資料・機材の利用に関すること
		中央図書館の図書館資料に係る情報サービス及び都内公立図書館等に対する情報サービスに関すること
		中央図書館の特別文庫室の資料の選定・収集・整理・保存
		中央図書館の都市・東京情報サービスに係る資料及び視聴覚資料の選定・収集・整理・保存
		東京都の政策立案支援に係る情報サービスに関すること
		中央図書館における視覚障害者等に対する資料の音訳及び録音等に関すること
		中央図書館の図書資料（視聴覚資料を除く）等の複写に関すること
		中央図書館の利用案内に関すること

Ⅱ 主要事業

1 令和6年度 主要事業

「都立図書館実行プラン 2024-2026 誰もが利用したくなる図書館の実現に向けて」（令和6年2月）に基づき、以下の3本の事項を柱として定め、各施策を展開する。3か年計画の1年目である令和6年度は、以下の事業に重点的に取り組む。

(1) 首都東京の図書館として、社会の変化や技術の進展に対応した機能の整備・拡充に努め、東京情報を始めとする知の集積・発信を推進する。

- ア 東京情報の集積・発信
- イ 東京に集う外国人へのサービス推進
- ウ デジタル資料の利用における都内公立図書館への導入支援
- エ 図書館情報システム機器更新に向けたアセスメントの実施
- オ 新たな時代を見据えた人材育成の展開
- カ 館内施設の整備・活用促進

【具体的な取組】

東京の社会課題等をテーマにした講座・セミナーの充実、東京に関する音声・映像資料の方針策定、世界陸上・デフリンピックに向けた資料収集の充実、東京に集う外国人（在住・在勤・在学）へのサービス推進、外国語電子書籍の提供、デジタル資料の利用における都内公立図書館への導入支援、各分野における専門的資質の向上、働きやすい職場空間整備 等

(2) 誰もが使いやすいサービスの実現に向けて、最新技術を活用し、アクセシビリティを向上させる。

- ア 複写サービスの改善に向けた検討
- イ ユニバーサルコミュニケーションの推進
- ウ 図書館利用に障害のある人々へのサービスの拡充
- エ 区市町村立図書館員向け研修のオンデマンド配信

【具体的な取組】

インターネットによる図書館資料複写送信サービス（公衆送信サービス）の導入、ユニバーサルコミュニケーション技術の活用、多言語化を意識した都立図書館ホームページリニューアルの検討、やさしい日本語のコーナー（仮称）の設置、オンライン音訳サービスの推進、視覚障害者等用テキストデータの製作と提供、オンデマンド配信による区市町村立図書館への支援拡充 等

(3) 図書館に集積した知と、リアルな場としての機能を活かし、多様な人々との交流の機会を提供するとともに、学びや知的活動を支援する。

- ア 場としての機能を活かした事業の展開
- イ 学校等への支援拡充

【具体的な取組】

参加型・体験型事業の拡充、各関係機関と連携したセミナー等の実施、東京マガジンバンクの雑誌を媒介とした学びの支援の充実、学校図書館支援センター機能の充実、都立特別支援学校への支援の充実、子供の読書・区市町村支援事業の実施、学校支援プログラムの改善 等

《共通の施策》 多様な人々に図書館の取組が伝わる広報の充実

【具体的な取組】

SNS の戦略的活用、動画発信による都立図書館の紹介、やさしい日本語による広報 等

《先進的取組の実現に向けた技術的・制度的課題の整理》

【具体的な検討事項】

Web フォームの全庁共同電子申請基盤への移行、レファレンスサービスに係る AI 活用の検討 等

2 令和5年度 主要事業報告

(1) 首都東京の図書館として、情報流通をめぐる社会環境の変化に対応し、「東京」情報の集積、発信を推進する。

ア 社会環境の変化を踏まえた「東京」情報の集積・発信

過去の東京の姿を伝える貴重な映像記録の保存と長期的活用を図るため、16ミリ映画フィルムの媒体変換計画に沿って、中央図書館及び多摩図書館が所蔵するフィルムからDVDへの媒体変換を行った。

イ 中央図書館 50 周年記念事業の取組

中央図書館は、令和5年に開館50周年を迎えた。これを記念して『東京都立中央図書館開館50周年記念誌』を令和6年3月に刊行した。令和5年12月から令和6年3月にかけて企画展示「図書館の図書館展」を開催した。また、令和5年12月には、公開講座「図書館の旅 過去・現在・未来への探求」を開催した。

(2) ICT を積極的に活用して、東京に集う人々の多様な知的活動や「学び」を支援する。

ア ICT を活用したレファレンス機能の強化

従来のキーワード一致検索以外の自然な文や文章による資料探索を可能にするため、AIを活用した所蔵資料紹介型 AI チャットボット AI ChatShelf (AI チャットシェルフ) の試行提供を、令和6年3月に開始した。

イ 東京マガジンバンクカレッジの取組による利用者のアクティブな学びの支援

令和5年7月に、スポーツ雑誌の編集者と東京マガジンバンクカレッジ個人パートナーであるスポーツジャーナリストとの対談形式の講演会を実施した。令和6年1月には、団体パートナーの大学ゼミと協働して、雑誌制作や雑誌を活用して研究に取り組んだ大学生による成果発表会を、オンラインでのライブ配信で開催した。両事業については都立図書館ホームページにイベントレポートを掲載した。また、これらの企画に関連したテーマや武蔵野線開業50周年のミニ展示の実施にあたっては、雑誌のセレクト等をパートナーに呼びかけ参加を促すとともに、パートナー通信（パートナー対象のメールマガジン）で報告した。

ウ 外国語資料を活用したサービス・支援の充実

中央図書館では、1階中央ホールの「話題の洋書コーナー」において、書評誌等で取り上げられた海外の「話題の本」や各分野の新着洋書（※）、日本の伝統・文化や観光情報を紹介する「Books on Japan」、「Manga（外国語で読む日本の漫画）」「English & American Literature（英語で書かれた小説）」等を紹介し、2～3カ月ごとにテーマを変えてミニ展示を行った。

※都立図書館では、中国語・韓国朝鮮語図書以外の外国語図書を洋書として扱っている。

エ ICT を活用した学校への支援

コロナ禍を経て、校外学習等の受入れ件数が元に戻りつつある。また、今後の展開を見据えて、対面方式で行われた都立図書館の使い方・レポートの書き方講座を動画撮影し、編集作業を行った。あわせて作成したPR動画とともに活用できるようにした。

都立図書館ホームページ内「学校支援サービス」のページを再構成し、分かりやすくした。また、都立特別支援学校を対象に選書等相談会を行い、学校図書館の整備支援を行った。

オ 特別な支援を必要とする子供たちの読書支援

特別支援学校等における読書活動を支援するための冊子『特別支援学校での読み聞かせ』

の増訂版（初版は平成 25 年 4 月発行）を作成し、都立特別支援学校や区市町村立図書館等へ配布した。また、都立図書館ホームページに全ページを掲載し、広く周知を行った。

カ 区市町村立図書館等とのネットワーク強化

区市町村立図書館のニーズや著作権法に留意の上、区市町村立図書館員向けレファレンス研修のオンデマンド配信を開始した。

令和 3 年度以降、区市町村立図書館での Web 会議環境を調査し、情報共有した。東京都公立図書館長連絡会では、令和 4 年度から「職員研修」に関する調査を実施し、これについても情報共有した。第 1 回協力事務担当者会の会議の様子を後日、動画配信をした。

(3) 図書館機能の DX 化に着手し、新たな時代の東京における情報環境を整備する。

ア 都立図書館サービスの DX 化に向けた基盤整備

都立図書館の資料を閉架書庫や電子書籍を含めたバーチャルな書架イメージとして大画面上で一覧し、一部の資料については利用者のデバイス上でそのまま閲覧もできる電子書架機能 Digital BookShelf（デジタルブックシェルフ）を令和 5 年 6 月に館内のデジタルサイネージ上で公開した。12 月にはインターネット上でも公開した。

島しょ部を中心にニーズの聞き取り、広域利用事例について他自治体、事業者への調査を行い、島しょ部を対象とする電子書籍サービスの拡充、オンラインデータベースの導入支援について検討した。

イ 館内施設の整備・活用促進

中央図書館では、令和 5 年 7 月から令和 6 年 2 月にかけて、自動火災報知設備等の更新工事を行うとともに、令和 5 年 6 月から令和 6 年 3 月にかけて、館内照明のうち LED 化未実施であった部分の改修工事を行い、利用者の安全確保及び施設の機能確保を図った。

ウ 新たな時代を見据えた人材育成の展開

都立図書館の情報サービスを支え、直面する課題の解決に取り組む専門職員等の育成を目指し、OJT や館内研修、派遣研修等に取り組んだ。令和 5 年度は、東京都立図書館司書職員育成基本方針（第二次）を策定した。なお、主任級司書職員の育成の一環として実施する、国立国会図書館との人事交流は 3 年目となった。

(4) 戦略的な情報発信を通じた都立図書館の PR

ア 新たな手法による情報発信強化

SNS（X、Facebook）及び都立図書館ホームページを通じて、連続性を持ち、視覚に訴求する広報として、各館のスポットを紹介する「都立中央図書館三十六景」「都立多摩図書館二十八景」や、「TOKYOアーカイブ」からの画像紹介等を発信した。

資料の収集・整理業務の広報のため、都立図書館ホームページに「資料収集・整理のページ」を作成し、コラム「B1へようこそ！～資料準備の現場から～」等を更新した。また、SNSを通じて、司書職員ならではの目線を伝える「司書あるある」、所蔵資料を活用したクイズ形式の「蔵書王」、懐かしさを感じるテーマについて資料を紹介する「ノスタルジア文庫」等を発信した。

外国人に対する広報として、中央・多摩両館の利用案内のやさしい日本語版を令和 6 年 3 月に新たに発行した。多摩図書館では、国分寺市等の国際交流団体に対して配布し、PR活動を実施した。

図書館で実施するイベントについて、効果的な広報を実施するため「ディレクションシート」を活用した。イベント実施後は、各指標を検証し、次回事業への改善をはかった。

多摩図書館では、令和 5 年度も、情報発信のツールとして、都立図書館ホームページや SNS の活用に加えて、毎月、エフエムラジオ立川の情報番組に職員が生出演し、館内利用 PR やイベント情報、休館日の案内等の発信を行った。

イ イベント等の取り組み

都立図書館の認知度向上と利用促進のため、都立図書館の所在地にある区で実施するイベントに出展した。参加したイベントは以下のとおり。

- (ア) 港区主催 5月実施 「エコライフ・フェア MINATO2023」
- (イ) 港区主催 10月実施 「みなと区民まつり」

Ⅲ 予算・決算

1 令和6年度 予算

(千円)

項 目	予 算 額			内 容
	令和6年度	令和5年度	増△減	
管理運営等	707,277 (40,585)	780,413 (23,554)	△ 73,136 (17,031)	都立図書館の管理運営、建物維持管理及び臨時的に要する経費（図書館改修工事を含む。）
サービス事業	178,923 (11,553)	159,084 (9,466)	19,839 (2,087)	館内サービス、相互協力事業、視覚障害者サービス、広報、貴重資料の電子化、都市・東京情報の発信拠点化事業等のサービスに要する経費
資料収集・整理	414,424 (7,433)	389,326 (5,338)	25,098 (2,095)	図書館資料の収集、整理、修理保全、蔵書目録作成等に要する経費 〔令和6年度購入計画〕 1 図 書 ・一般成人用図書 25,330 冊 (東京・重点的情報サービス・行政・郷土関係資料を含む。) ・既刊書 1,000 冊 (明治以降昭和40年代までの欠本) ・洋書 3,830 冊 ・未成年者向図書(児童書) 3,500 冊 同上 (青少年) 2,190 冊 ・中国語、韓国・朝鮮語図書 2,280 冊 ・備品図書 20 冊 合計 38,150 冊 2 逐次刊行物 ・新聞 170 種 ・雑誌 4,000 種 ・年鑑・年報 1,900 種 3 オンライン図書 33 種 4 電子書籍 373 種
電算システムの運営	13,471	11,991	1,480	図書館情報システムの管理運営及び図書館情報ネットワークの推進に要する経費
図書館協議会	1,866 (1,485)	1,298 (1,069)	568 (416)	委員数 12名 定例会 年4回 (令和6年度予定)
業務委託	504,834 (153,503)	477,633 (133,382)	27,201 (20,121)	都立図書館の資料出納、複写等の業務委託に要する経費
タイムリーな企画展	5,090	1,935	3,155	館外イベントへの出展、所蔵資料を活用した企画展示、講演会等の開催に要する経費
計	1,825,885 (214,559)	1,821,680 (172,809)	4,205 (41,750)	

(注) ・予算額は年度当初の額

・予算額中の()は、給与関係費(報酬等、共済費、旅費等)で内数

2 令和5年度 決算

(円)

項 目	決 算 規 模	予算額	決算額
I 管理運営等		780,413,000 (23,554,000)	643,628,727 (20,353,546)
1 庁舎管理 (1) 中央図書館 (2) 多摩図書館 2 その他の運営 (1) 中央図書館 (2) 多摩図書館	(建物規模) 地上5階地下2階 延 23,196.21㎡ 地上3階 延 8,982㎡		
II サービス事業		159,084,000 (9,466,000)	145,475,868 (8,769,688)
1 中央図書館 (1) 館内サービス (2) 視聴覚資料収集 (3) 相互協力事業 (4) 視覚障害者等サービス (5) 広 報 2 多摩図書館 (1) 館内サービス (2) 視聴覚資料収集 (3) 相互協力事業 (4) 視覚障害者等サービス (5) 広 報	開館日数 327日 入館者数 222,563人 開館日数 327日 入館者数 142,379人		
III 資料収集・整理		389,326,000 (5,338,000)	379,003,872 (4,738,940)
1 図書館資料の収集 中央・多摩図書館 2 図書資料の整理 3 修理保全 4 蔵書目録	1 図 書 (1) 新刊和書 20,449冊 (2) 既刊書 1,233冊 (3) 洋書 4,405冊 (4) 中国語・韓国・朝鮮語図書 2,150冊 (5) 電子資料 0枚 (6) 児童書(和書) 3,200冊 (7) 青少年図書(和書) 2,098冊 2 逐次刊行物 (1) 新聞 160種 (2) 雑誌 3,781種 (3) 年鑑・年報(和書) 1,230冊 (4) 年鑑・年報(洋書) 125冊		
IV 電算システムの運営		11,991,000	11,736,123
V 図書館協議会		1,298,000 (1,069,000)	810,886 (682,506)
VI 業務委託		477,633,000 (133,382,000)	450,686,650 (130,281,046)
VII タイムリーな企画展		1,935,000	1,746,648
計		1,821,680,000 (172,809,000)	1,633,088,774 (164,825,726)

(注) ・予算額は決算時の額

・予算額・決算額中の()は、給与関係費(報酬等、共済費、旅費等)で内数

・決算額は令和6年4月末時点における速報値である。

Ⅳ 統計資料(令和6年3月31日現在)

1 所蔵状況

(1) 図書(年鑑・年報含む)

(冊)

区 分		中央図書館	多摩図書館	合 計
日 本 語 資 料	一 般 書	1,475,202	242,713	1,717,915
	総 記	61,511	7,175	68,686
	哲 学	79,580	7,169	86,749
	歴 史	203,235	13,131	216,366
	社 会 科 学	403,956	31,061	435,017
	自 然 科 学	143,759	11,250	155,009
	技 術	159,835	14,159	173,994
	産 業	109,687	6,149	115,836
	芸 術	143,370	14,361	157,731
	言 語	29,587	4,074	33,661
	文 学	140,682	134,184	274,866
	東 京 資 料	270,651	4,768	275,419
	児 童 資 料	0	194,597	194,597
	青 少 年 図 書	0	46,255	46,255
海 外 資 料	洋書(特別文庫除く)	192,823	35,333	228,156
	一 般 書	190,524	13,684	204,208
	東 京 資 料	2,299	15	2,314
	児 童 資 料	0	21,633	21,633
	青 少 年 図 書	0	1	1
	中 国 語 図 書	77,818	5,270	83,088
	一 般 書	77,298	137	77,435
	東 京 資 料	520	1	521
	児 童 資 料	0	5,132	5,132
	青 少 年 図 書	0	0	0
	韓国・朝鮮語図書	26,790	2,578	29,368
	一 般 書	26,384	36	26,420
	東 京 資 料	406	2	408
	児 童 資 料	0	2,540	2,540
	青 少 年 図 書	0	0	0
特 別 文 庫		243,717	0	243,717
山 本 有 三 文 庫		0	13,560	13,560
計		2,287,001	545,074	2,832,075

(注1)各館の所蔵冊数には、都立図書館収蔵庫配置資料を含む。

(注2)特別文庫所蔵資料は、原資料のみの所蔵数。

(2) 新聞雑誌所蔵状況

(タイトル)

区 分			中 央 図 書 館				多 摩 図 書 館				合 計
			新聞雑誌	東京資料	特別文庫 (注1)	小 計	新聞雑誌	児童青少年 資料	東京資料	小 計	
新 聞	日 本 語	継 続	179	221	0	400	45	9	32	86	486
		終刊・中断	257	406	45	708	82	21	0	103	811
		小計	436	627	45	1,108	127	30	32	189	1,297
	外 国 語	継 続	25	3	0	28	3	0	0	3	31
		終刊・中断	49	19	0	68	2	1	0	3	71
		小計	74	22	0	96	5	1	0	6	102
	計		510	649	45	1,204	132	31	32	195	1,399
雑 誌	日 本 語	継 続	1,057	538	0	1,595	4,979	172	0	5,151	6,746
		終刊・中断	2,467	1,709	255	4,431	12,586	747	0	13,333	17,764
		小計	3,524	2,247	255	6,026	17,565	919	0	18,484	24,510
	外 国 語	継 続	47	9	0	56	370	18	0	388	444
		終刊・中断	81	10	329	420	1,274	67	0	1,341	1,761
		小計	128	19	329	476	1,644	85	0	1,729	2,205
	計		3,652	2,266	584	6,502	19,209	1,004	0	20,213	26,715
マイクロフィルム (注2)			16 (16,792)	12 (1,673)	—	28 (18,465)	16 (10,879)	3 (13)	4 (152)	23 (11,044)	—

(注1) 冊数。p. 11の「特別文庫所蔵数243,717冊」の内数。

(注2) 下段 () は、リール数。この他、マイクロフィッシュ(児童和雑誌)1タイトル49枚を所蔵している。

(3) 音声・映像資料

区 分	映画フィルム		ビデオ テープ	LD・ DVD	スライド フィルム	レコード・CD ()はCDで内数	録 音 テープ	航空写真 ネガフィルム
	16mm (巻)	8mm (巻)						
中央図書館	1,914	135	6,298	2,716	264	5,834 (1,786)	1,138	113
多摩図書館	9,461	—	—	—	—	—	—	—

(4) 視覚障害者等用資料

区 分	録音資料		点字資料	点字雑誌・新聞	録音雑誌・新聞	
	録音テープ	デージー			録音テープ	デージー
中央図書館	3,626点 26,794巻	2,634点 2,668枚	748点 3,557冊	10種 4,203冊	7種 659点	14種 667枚
多摩図書館	3,175点 17,106巻	1,639点 1,639枚	411点 1,701冊	11種 604冊	19種 4,418点	7種 393点

(5) 特別文庫資料の自館製作複製資料(電子化に伴う複製物含む)

特別文庫室では、所蔵貴重資料(原資料)の保存と、調査研究のための利用とを両立するため、資料のメディア変換(電子化)に取り組んでいる。原資料1点から、複数媒体の複製資料が作られるため、図書の所蔵統計とは別枠で累積数値を記載する。

区 分	紙焼き	マイクロフィルム	複製写真	スチールフィルム	DVD-R(CD-R等含む)
中央図書館	66,962点	9,375巻	6,444枚	39,648枚	5,698枚

2 オンラインデータベース・電子書籍の導入状況

新聞・雑誌記事、事典類、ビジネス情報、法律情報及び健康・医療情報について、オンラインデータベースを中央・多摩の両館で導入している。

電子書籍については、経済・財政史、歴史、古典文学、ビジネス関係等の日本語コンテンツ、オリンピック関係、日本文学作品の翻訳、多読資料等の英語コンテンツを導入し、中央・多摩の両館で、専用端末により館内提供している。

(種)		(タイトル)	
区 分	オンラインデータベース 導入数	区分	電子書籍 タイトル数
無料	32	日本語コンテンツ	2,125
有料	1	英語コンテンツ	1,219
計	33	計	3,344

3 図書館資料収集・整理統計

都立図書館所蔵資料の収集、整理及び館内製本は、中央図書館及び多摩図書館の資料を一括して中央図書館で行っている。

(1) 図書資料受入状況

ア 新収資料 (冊)

区 分	情報サービス資料 (中央・多摩図書館)
購 入	34,890 (6,680)
受 贈	7,527 (157)
そ の 他 (自館製作目録、加除式資料等)	19 (0)
計	42,436 (6,837)

(注) 年鑑年報を含む。() 内は外国語資料で内数。

イ 複製資料

特別文庫室では、所蔵貴重資料(原資料)の保存と、調査研究のための利用とを両立するため、資料のメディア変換(電子化)に取り組んでいる。原資料1点から、複数媒体の複製資料が作られるため、図書の受入統計とは別枠で受入数値を記載する。

(点)

特別文庫資料の 自館製作複製	117
-------------------	-----

(2) 逐次刊行物受入状況

(年鑑年報は冊数 新聞雑誌はタイトル数)

区 分	年鑑年報	新 聞		雑 誌	
		中 央	多 摩	中 央	多 摩
購 入	1,355 (125)	125 (20)	35 (2)	798 (55)	2,983 (353)
受 贈	2,678 (32)	244 (6)	47 (1)	1,011 (11)	2,928 (81)
計	4,033 (157)	369 (26)	82 (3)	1,809 (66)	5,911 (434)

(注) () 内は外国語資料で内数

(3) 整理状況

(冊)

資料種別	和図書	海外資料	年鑑年報	計
整理冊数	35,602	7,225	4,470	47,297

(4) 製本状況

(点)

館内製本	館外製本	重要文化財 修 復	計
3,366	1,078	0	4,444

4 利用統計資料（令和5年度実績）

(1) 利用状況

ア 入館者数

(人)

区 分	中央図書館			多摩図書館			計
	開館 日数	月 別 入館者数	1 日 平 均	開館 日数	月 別 入館者数	1 日 平均	
令和5年 4月	28	14,121	504	28	9,022	322	23,143
5月	29	17,826	615	29	11,048	381	28,874
6月	19	11,536	607	19	7,144	376	18,680
7月	29	19,796	683	29	13,325	459	33,121
8月	29	19,858	685	29	14,482	499	34,340
9月	28	18,536	662	28	12,654	452	31,190
10月	29	20,702	714	29	14,071	485	34,773
11月	28	20,699	739	28	13,578	485	34,277
12月	26	18,791	723	26	10,998	423	29,789
令和6年 1月	26	20,302	781	26	11,879	457	32,181
2月	27	20,754	769	27	13,062	484	33,816
3月	29	19,642	677	29	11,116	383	30,758
計	327	222,563	681	327	142,379	435	364,942

イ 複写枚数

(枚)

区 分	中央図書館			多摩図書館			計
	開館 日数	月 別 複写枚数	1 日 平 均	開館 日数	月 別 複写枚数	1 日 平均	
令和5年 4月	28	60,444	2,159	28	9,713	347	70,157
5月	29	65,392	2,255	29	15,684	541	81,076
6月	19	49,596	2,610	19	10,986	578	60,582
7月	29	75,647	2,609	29	13,977	482	89,624
8月	29	77,613	2,676	29	16,382	565	93,995
9月	28	66,827	2,387	28	12,738	455	79,565
10月	29	62,434	2,153	29	13,775	475	76,209
11月	28	56,755	2,027	28	11,339	405	68,094
12月	26	60,879	2,342	26	12,731	490	73,610
令和6年 1月	26	62,283	2,396	26	13,405	516	75,688
2月	27	72,816	2,697	27	12,976	481	85,792
3月	29	66,615	2,297	29	12,728	439	79,343
計	327	777,301	2,377	327	156,434	478	933,735

ウ 蔵書検索数

蔵書検索は、都立図書館の所蔵資料のみを検索し、総合検索は、都内公立図書館や国会図書館等の所蔵資料も検索できる。

(件)

(件)

区 分	蔵書検索数	統合検索 利用件数
令和5年 4月	711,380	173,989
5月	754,839	187,221
6月	686,636	178,489
7月	783,262	179,289
8月	815,321	181,667
9月	915,469	172,222

区 分	蔵書検索数	統合検索 利用件数
令和5年 10月	994,010	173,936
11月	924,236	167,690
12月	913,462	161,118
令和6年 1月	945,553	166,659
2月	909,292	162,592
3月	957,427	171,736
計	10,310,887	2,076,608

(2) 登録利用者数

登録利用者は、ネット予約（資料の取置き）、Eメールレファレンス及び新着情報配信サービス等を利用することができる。（ただし、Eメールレファレンスは、登録利用者以外も利用することができる。）

(人)			(人)		
区 分	各月末現在の登録利用者数		区 分	各月末現在の登録利用者数	
令和5年 4月	5,288		令和5年 10月	7,526	
5月	5,626		11月	7,814	
6月	5,934		12月	8,092	
7月	6,607		令和6年 1月	8,425	
8月	6,952		2月	8,770	
9月	7,218		3月	9,042	

(3) レファレンス件数

レファレンスサービスは、利用者からの相談や質問に、図書館の資料や情報源を用いて回答することである。都立図書館では、カウンターや電話などで様々な質問に答えるとともに、広く参考となると思われる事例を当館ホームページや国立国会図書館が実施するレファレンス協同データベースで紹介している。

【掲載質問例】 回答は当館ホームページに掲載。

- ・インフルエンザの流行による学級閉鎖（休業）が導入された経緯とその効果を知りたい。
- ・手塚治虫本人が行った講演が載っている資料はないか。
- ・渋谷駅ハチ公広場のレイアウトとハチ公の位置について、戦後から現在まで、どのように変化したのかを知りたい。
- ・関東大震災後及び太平洋戦争後に東京の飲食店数が急増したようだが、それを裏付ける資料はあるか。

ア 質問形態内訳

〔都立図書館計〕

(件)

区 分	中央図書館		多摩図書館		計
	総 数	1 日平均	総 数	1 日平均	
口 頭	15,399	47	10,839	33	26,238
電 話	22,431	69	7,112	22	29,543
ファクシミリ	2	0	1	0	3
文 書	748	2	404	1	1,152
E メール	2,490	8	498	2	2,988
計	41,070	126	18,854	58	59,924

〔中央図書館〕

(件)

区 分	情報サービス課 4 担当	特別文庫室	視覚障害者 サービス担当	計	開館日数	1 日平均
口 頭	14,674	530	195	15,399	327	47
電 話	19,303	251	2,877	22,431	327	69
ファクシミリ	2	0	0	2	327	0
文 書	642	6	100	748	327	2
E メール	2,246	120	124	2,490	327	8
計	36,867	907	3,296	41,070	327	126

(注) 中央図書館では、上記の他に案内スタッフによる簡易な応対が9,682件ある。

〔多摩図書館〕

(件)

区 分	情報サービス担当	児童青少年 資料担当	視覚障害者 サービス担当	計	開館日数	1 日平均
口 頭	7,086	3,607	146	10,839	327	33
電 話	6,133	522	457	7,112	327	22
ファクシミリ	0	1	—	1	327	0
文 書	381	23	—	404	327	1
E メール	269	83	146	498	327	2
計	13,869	4,236	749	18,854	327	58

イ 協力レファレンス件数

都内の区市町村立図書館等が利用者から受けた質問に対し自館の資料等では十分な回答が得られない場合に、都立図書館が区市町村立図書館等の求めに応じて調査及び回答を行っている。

(件)

区 分		ファクシミリ	Eメール	計
都 内 公 立 図 書 館	区立図書館	0	44	44
	多摩地区市町村立図書館	2	88	90
	島しょ図書館	0	1	1
	小計	2	133	135
その他		0	47	47
計		2	180	182

(注) 「その他」は、他道府県図書館及び大学図書館等

ウ 聴覚・言語障害者レファレンス件数

(件)

区 分	中央図書館
ファクシミリ・Eメール	0

(4) 書庫内資料利用冊数

(冊)

中央図書館	
年間	165,844
1日平均	507

(注) 図書・新聞・雑誌の合計

(冊)

多 摩 図 書 館					
図 書			雑 誌		計
		うち、児童図書		うち、児童雑誌	
年間	34, 176	(21, 677)	110, 256	(8, 733)	144, 432
1 日 平均	105	(66)	337	(27)	442

(5) 情報リテラシー支援件数

パソコンによる資料の検索やオンラインデータベースの利用の際に、システム機器の操作方法に関する支援を行っている。

(件)

中 央 図 書 館			
情報サービス課4担当	特別文庫室	視覚障害者サービス担当	計
5,381	208	81	5,670

(注) 中央図書館では、上記の他に案内スタッフによる情報リテラシー支援件数が12,112件ある。

多摩図書館
2,959

(6) 政策立案支援サービス件数

東京都職員が政策立案を行う際、求めに応じて必要な資料・情報の提供を行っている。

(件)

	中央図書館	多摩図書館	計
レファレンス件数	3,036	130	3,166
都庁内貸出冊数	1,024	68	1,092
複写枚数	6,633	674	7,307

(7) 特別文庫室利用状況

中央図書館特別文庫室では、江戸時代後期から明治時代中期の資料を中心に所蔵し提供している。資料の提供方法は、閲覧、複写（即日複写のほか、利用者による撮影や所蔵しているネガの貸出を含む。）及び資料貸出である。

ア 資料提供

開室 日数 (日)	閲覧者数 (人)		閲 覧 数 (冊)		複 製 関 係						資料貸出		合計利用冊数	
					撮 影		即日複写		フィルム貸出					
	人数	1日平均	冊数	1日平均	件数	冊数	件数	冊数	件数	冊数	件数	冊数	冊数	1日平均
327	751	2	4,646	14	179	779	100	219	2	3	8	56	5,703	17

イ 掲載及び覆刻・翻刻 ウ 業務用資料利用冊数

掲載		覆刻・翻刻		特別文庫室	
件数	冊数	件数	冊数	年間	冊数
117	339	16	30	年間	14,828
				1日平均	45

(8) 音声・映像資料利用状況

中央図書館では、歴史・伝統技術や東京に関する記録資料を中心とした、ビデオ、レーザーディスク、CD及びDVD等を所蔵しており、音声・映像コーナーで視聴できる。

利用者数 (人)	利用点数 (点)
453	820

(9) 視覚障害者等サービス状況

登録制で、資料の対面音訳並びに、テープ・デージー資料、点訳資料及びテキストデータの作成及び貸出を行っている。

区 分	登録者		対面音訳			テープ・デージー資料				
	利用者	音訳者	利用人数	音訳者数	音訳時間	受付数	テープ資料		デージー資料	
							作成数 (巻)	貸出数 (巻)	作成数 (枚)	貸出数 (枚)
中央図書館	290	81	372	566	1,443	35	0	146 (211)	35 (36)	3,594 (3,573)
多摩図書館	104	17	356	356	1,025	9	0	3 (3)	18 (18)	1,274 (1,274)

区 分	点 訳				テキストデータ		
	受付数	作成数 (冊)	貸出数		受付数	作成数 (点)	貸出数 (点)
			点字 (冊)	F D (枚)			
中央図書館	6	6 (22)	95 (149)	25 (25)	7	7 (7)	30 (30)
多摩図書館	0	0 (0)	18 (23)	0 (0)	0	—	0 (0)

(注1) デイジーとは、Digital Accessible Information System（デジタル録音図書）の略。
(注2) 貸出数の中には、借受・貸出分も含む。
(注3) 作成数の中には雑誌・新聞（テープ、デージー、点訳及びテキストデータ）は含まない。
(注4) 上段はタイトル数、下段は資料の巻（冊）数を表す。

(10) 協力貸出状況

ア 都内公立図書館への貸出

区市町村立図書館が所蔵していない資料に対し利用者から要望があった場合、東京都全体で資料の有効活用を図り都民の資料要求に応えるため、都立図書館の資料を区市町村立図書館に貸出している。

区 分	図書貸出冊数	雑誌貸出冊数	合 計
区 立 図 書 館	7,945	1,902	9,847
多摩地区市町村立図書館	46,912	3,091	50,003
島 しょ 図 書 館	789	43	832
計	55,646	5,036	60,682

イ 都外公立図書館との相互貸借、大学図書館等への貸出

所蔵していない資料に対し利用者から要望があった場合、都外公立図書館との間で相互に資料の貸借を行っている。大学図書館への貸出も実施している。

区 分	都外貸出		都外借用		大学図書館・その他への貸出	
	件数	冊数	件数	冊数	件数	冊数
中央図書館	88	112	18	18	25	31
多摩図書館	13	14	5	5	1	2
計	101	126	23	23	26	33

(11) 多摩図書館 16ミリフィルム等の貸出数

多摩図書館では、16ミリ映画フィルム及び映写機を、登録している団体及び島しょ地域に貸し出している。

区 分				登 録 数	貸 出		
					件 数	点 数	
16 ミリ 映 画 フ ィ ル ム	団 体			30	108	390 本	
	特 別 団 体			9			
	うち、 長期貸出し 島しょ	大島		—	12	120	本
		三宅			0	0	本
		八丈			0	0	本
		小笠原			0	0	本
		計		—	12	120	本
映 写 機 貸 出			—	35	35	台	

(12) ホームページ利用状況

(件)

区 分	トップページ 表示回数※
令和5年 4月	63,807
5月	66,907
6月	65,462
7月	68,187
8月	67,539
9月	61,642
10月	61,693
11月	59,798
12月	57,006
令和6年 1月	60,175
2月	57,992
3月	59,804
計	750,012

(13) チャットボット利用状況

(ルーム)

区分	ルーム数
令和5年 4月	1,395
5月	1,236
6月	1,208
7月	1,090
8月	1,171
9月	861
10月	953
11月	855
12月	761
令和6年 1月	1,037
2月	1,282
3月	864
計	12,713

(注) 令和5年度よりGoogle Analyticsの計測方法がUAからGA4に切り替わったため、アクセス数から表示回数に変更。

(14) 多摩図書館 セミナールーム使用状況

多摩図書館では、研修等を行うセミナールーム（定員216名。約100名の部屋に分割して使用可。）を設置し、多摩図書館での事業等に使用するほか、有料で貸し出している。

(件)

区 分	全面使用	分割使用	
		セミナールーム 1	セミナールーム 2
令和5年 4月	8	6	3
5月	9	6	5
6月	18	7	4
7月	20	8	3
8月	17	3	1
9月	5	5	3
10月	12	11	3
11月	10	10	8
12月	8	0	4
令和6年 1月	12	3	1
2月	8	6	2
3月	9	10	6
計	136	75	43

V 事業実績（令和5年度）

1 展示等の事業（展示・講演会等）

都立図書館の豊富な所蔵資料の魅力をPRするとともに資料の利用を促進するため、企画展示、講演会等を実施した。

(1) 展示

展 示 内 容 等		期 間	会 場	来場者数
図書館外イベント	エコライフ・フェアMINATO2023	5月20日	港区有栖川宮記念公園	58 名
	みなと区民まつり	10月7日～8日	港区増上寺境内	832 名
中央図書館企画展示	「本でたどるエジプトー古代文明から現代の暮らしまでー」	8月4日～10月4日	中央図書館企画展示室	7,729 名
	東京文化財ウィーク2023参加企画展「描かれた江戸城」	10月28日～11月12日	中央図書館企画展示室・多目的ホール	4,901 名
	東京都立中央図書館50周年記念企画展示「図書館の図書館展」	12月9日～3月6日	中央図書館企画展示室	7,740 名
名誉館長関連展示	「尾木直樹都立図書館名誉館長」	4月3日～5月15日	中央図書館 社会・自然科学系資料・閲覧室＊	
	「尾木直樹都立図書館名誉館長」	4月3日～5月10日	多摩図書館閲覧室＊	
	尾木ママの本棚「こども新時代がやって来た！」	2月2日～3月4日	中央図書館 1階中央ホール＊	
		3月8日～4月3日	多摩図書館閲覧室＊	
話題の洋書ミニ展示	「Castle」	5月12日～8月2日	中央図書館 1階話題の洋書コーナー＊	
	「Earthquake disaster」	8月4日～12月6日		
	「Tokyo Sightseeing -Winter-」	12月8日～3月6日		
	「Origami」	3月8日～6月10日		
アーカイブ資産展示	「東京2020アーカイブ資産展示」	通年	中央図書館 都市・東京情報コーナー＊	
都市・東京情報ミニ展示	「コロナ禍の東京の記録」	5月12日～8月2日	中央図書館 都市・東京情報コーナー＊	
	「関東大震災と東京ー震災復興から100年ー」	8月4日～11月1日		
	「東京の公園」	11月3日～1月31日		
	「警視庁創立150年」	2月2日～5月1日		
ビジネス情報ミニ展示	「ダイバーシティ&インクルージョン ～職場の多様性を考える～」	5月12日～6月12日	中央図書館 ビジネス情報コーナー＊	
	「高校生ビジネスプラン・グランプリ」 ＊日本政策金融公庫との連携展示	6月23日～9月6日		
	「リスキリング入門」	9月8日～11月1日		
	「アフターコロナの飲食店」	11月3日～12月28日		
	「SFで読むビジネスの未来」	1月5日～3月6日		
	「現代社会で「働く」」	3月8日～5月1日		
法律情報ミニ展示	「宇宙と法 ～美しい宇宙の姿とNewSpace～」	5月12日～8月2日	中央図書館 法律情報コーナー＊	
	「AIと法律」	8月4日～10月4日		
	「LGBTQと法律」	10月6日～12月6日		
	「知りたい！インボイス」	12月8日～3月6日		
	「法律家 三淵嘉子さん」	3月8日～5月1日		
健康・医療情報ミニ展示	「難病になっても展 2023」 ＊東京難病団体連絡協議会との連携展示	5月12日～6月12日	中央図書館 健康・医療情報コーナー＊	
	「もっと知りたい！腸内フローラと健康」	6月23日～9月6日		
	「子どもの感染症」	9月8日～11月1日		
	「もし、がんになったら」 ＊東京都がん診療連携協議会との連携展示	11月3日～12月28日		
	「冬の筋肉」	1月5日～3月6日		
	「スマホ依存」	3月8日～5月1日		

展 示 内 容 等		期 間	会 場	来場者数
健康・医療関係機関・展示で連携	「オレンジバレーンプロジェクトin墨東」での「出張図書館」(「がんについて知る」、「緩和ケア(医療従事者向け)」等のテーマごとの展示)	10月2日～10月6日	東京都立墨東病院 医療情報室	
	「広尾病院フェア」(「防災のキホン」、「避難しないと！そのときどうする?」、「もっと！防災+α」等のテーマごとの展示)	2月10日	東京都立広尾病院	
社会・自然科学系 トピック展示	「エコライフ・フェアMINATO2023」	5月12日～5月31日	中央図書館 社会・自然科学系資料・ 閲覧室＊	
	「世界の美しい生物」	7月7日～9月6日		
	「なぜクリスマスにはブッシュ・ド・ノエルを食べるのか」	12月8日～12月26日		
	「チョコレートはお好きですか?」	2月2日～3月6日		
	「新語・流行語大賞2023」	12月5日～12月28日	中央図書館 1階中央ホール＊	
	「辰」	1月5日～1月8日		
	「“いざ”のための“いつも”―災害に備える―」	1月5日～1月31日		
	「追悼 赤松良子さん」	2月8日～3月6日		
	「山本理顕さんプリツカー賞受賞」	3月8日～3月26日		
人文科学系 トピック展示	「追悼 坂本龍一さん」	3月29日～4月10日	中央図書館 1階中央ホール＊	
	「辻村深月の世界」	4月28日～5月5日	中央図書館 2階閲覧室＊	
	「牧野富太郎」	5月3日～5月17日		
	「藤井聡太新名人・七冠」	6月2日～6月12日	中央図書館 人文科学系資料・閲覧室＊	
	「決定！第169回芥川賞・直木賞」	7月25日～8月2日		
	「追悼 森村誠一さん」	7月25日～8月2日		
	「ノーベル文学賞受賞2023」	10月6日～11月1日		
	「ブラックジャック」	10月6日～11月1日		
	「八冠独占！藤井聡太さん」	10月11日～11月1日		
	「追悼・伊集院静さん」	12月4日～12月28日		
	「追悼・山田太一さん」	12月4日～12月28日		
	「追悼・篠山紀信さん」	1月5日～1月18日		
	「決定！第170回芥川賞・直木賞」	1月17日～3月6日		
	「追悼・小澤征爾さん」	2月10日～2月23日		
	「アカデミー賞、受賞。」	3月11日～3月25日		
人文科学系 ミニ展示	「ジュラシック・ワールドとスピルバーク」	5月12日～7月5日	中央図書館 人文科学系資料・閲覧室＊	
	「世界の美しい〇〇展」	7月7日～9月6日		
	「1973年デビュー！ デビュー50周年のマンガ家たち」	9月8日～11月1日		
	「和食展」	11月3日～12月28日		
	「紫式部と源氏物語」	1月5日～3月6日		
	「カフカ没後100年」	3月8日～5月1日		
美術関係 連展示	「「柿右衛門」の五色」	5月12日～6月12日	中央図書館 3階美術情報コーナー＊	
	「推し活！」	6月23日～8月2日		
	「虫めづる 日本の人々」	8月4日～9月6日		
	「イヴ・サンローラン展」	9月8日～10月4日		

展 示 内 容 等		期 間	会 場	来場者数
美術 展 関 連 展 示	「棟方志功展」	10月6日～11月1日	中央図書館 3階美術情報コーナー＊	
	「モネ」	11月3日～12月28日		
	「もじイメージGraphic展」	1月5日～1月31日		
	「和田誠 映画の仕事」	2月2日～3月6日		
	「2023年展覧会図録」	3月8日～5月1日		
大使館等 連 携 展 示	ペルー大使館日ペ外交150周年 領事館開設25周年(主催 駐日ペルー共和国大使館・在東京ペルー共和国総領事館)	6月23日～7月5日	中央図書館企画展示室	
	Long Live Wivi Lönn! (永遠なるヴィヴィ・ロン) 生誕150周年記念展示(主催 フィンランドセンター)	8月31日～9月19日	中央図書館多目的ホール	
	イメージの中のリトアニア Lithuania in Books and Images—写真、本、ドキュメンタリー、アーティスト・トーク—(主催 駐日リトアニア共和国大使館)	10月7日～10月18日	中央図書館企画展示室	
	アルゼンチンと日本外交樹立125周年記念カリグラフィー展「アルゼンチンを紐解くフレーズ」(主催 駐日アルゼンチン共和国大使館)	11月21日～11月30日	中央図書館企画展示室	
	「フルブライト・プログラム～世界で最も知られた権威ある人物交流事業～」	3月16日～4月3日	中央図書館 1階話題の洋書コーナー＊	
バン ク 東 京 マ ガ ジ ン 展 示	「Music Magazine Fes. ～音楽雑誌を楽しもう♪～」	10月6日～12月28日	多摩図書館展示エリア	9,284 名
ミニ 東 京 マ ガ ジ ン ・ ガ ウ ジ ン ・ バ ル ン 展 示	「祝・武蔵野線開業50周年 ―こんな雑誌記事みつけました―」	5月12日～7月5日	多摩図書館展示エリア＊	
	「貨物列車の魅力」	5月12日～7月5日	展示ウォール＊	
	「ワールドカップを楽しもう! ～サッカー編～」	7月7日～9月6日	多摩図書館閲覧室、 展示ウォール＊	
	「関東大震災から100年 ～過去に学び、これからの備える～」	8月4日～9月6日	多摩図書館閲覧室＊	
	「ワールドカップを楽しもう! ～ラグビー編～」	9月8日～11月1日	多摩図書館閲覧室、 展示ウォール＊	
	「雑誌と子供の本でわかる国分寺」	11月3日～12月6日	多摩図書館閲覧室、 開架書庫＊	
	「創刊号にみる音楽雑誌」	11月3日～12月28日	展示ウォール＊	
	「雑誌を作る、研究する」	12月12日～1月31日	多摩図書館閲覧室＊	
	「図書館いまむかし ―都立中央図書館開館50周年記念―」	1月5日～3月6日	多摩図書館展示エリア＊	
	「50年前に創刊された雑誌」	1月5日～3月6日	展示ウォール＊	
	「山本有三の本棚 ―没後50周年記念―」	3月8日～5月1日	多摩図書館展示エリア＊	
	「『週刊文春』1977-2017 ～和田誠の表紙デザイン～」	3月8日～5月1日	展示ウォール＊	
担 当 児 童 青 少 年 資 料 展 示	「みなさんの選書を応援します ―都立多摩図書館のおすすめ本―」	7月22日～9月30日	多摩図書館展示エリア	14,595 名
児 童 サ ー ビ ス 展 示	「誕生日のおはなし」	4月14日～5月31日	多摩図書館児童エリア＊	
	「サメのほん」	4月21日～6月30日		
	「雨がふっても」	6月1日～7月5日		

展 示 内 容 等		期 間	会 場	来場者数
児 童 サ ー ビ ス 展 示	「たなばたのほん」	7月1日～7月7日	多摩図書館児童エリア*	
	「これならできる！自由研究」	7月7日～9月6日		
	「運動の秋」	9月8日～10月4日		
	「食欲の秋」	9月8日～10月4日		
	「芸術の秋」	10月6日～12月6日		
	「ハロウィン」	10月6日～11月1日		
	「ひみつの本」	11月3日～12月6日		
	「クリスマス」	12月8日～12月28日		
	「辰(龍)の本」	1月5日～3月6日		
	「お正月の本」	1月5日～1月31日		
	「チョコの本」	2月2日～2月14日		
	「ねこの本」	2月15日～2月22日		
	「ひなまつりの本」	2月23日～3月3日		
	「春が来た」	3月4日～5月1日		
	「げんきな1ねんせいのほん」	3月8日～5月1日		
	ほん・本・ごほん	通年		
青 少 年 サ ー ビ ス 展 示	「高校生直木賞」	6月2日～8月2日	多摩図書館青少年エリア*	
	「変身・ヘンシーン！」	7月7日～9月6日		
	「暑い夏こそ厚い本」	8月4日～10月4日		
	「ROBOT BOOKS」	9月8日～11月1日		
	「現代を生きる！詩の本」	10月6日～12月6日		
	「旅する写真家」	11月3日～12月28日		
	「数学×夢中」	12月8日～1月31日		
	「TAMA selection plus 本の中をのぞいてみると」	12月8日～4月3日		
	「竜・辰・Dragon」	1月5日～3月6日		
	「はたらくひとたち」	2月2日～4月3日		
	「花づくし」	3月8日～5月1日		
ス ポ ッ ト 展 示	「羅針盤」・「羅針盤Ⅱ」	通年	多摩図書館青少年エリア*	
	「扉をあけて」・「扉をあけてⅡ」	通年		
	「TAMA selection」	通年		
	「学習応援棚」	通年		
	「英語多読棚」	通年		
児 童 研 究 書 展 示	「クリスマス」	12月8日～12月28日	多摩図書館児童研究書エリア*	
	「お正月」	1月5日～1月14日		
	「特別支援学校での読み聞かせ 増補版」	3月25日～5月1日		

(注) *の会場は、閲覧室等の一部で展示を行っているため、来場者数の計測をしていない。

(2) 講演会等

区 分		日程	会場	参加者数
教育委員会主催	5月5日こどもの日トークイベント「図書室で暮らしたい」ふたりの話	5月5日	中央図書館多目的ホール	78 名
	トークイベントin都立多摩図書館「ゾロリの生き方～諦めないヒーローのひみつ～」	3月24日	多摩図書館セミナールーム	121 名
都市・東京情報 公開講座	「図書館の旅 過去・現在・未来への探求」	12月10日	中央図書館多目的ホール YouTube同時配信	162 名
東京マガジンバンクカレッジ	講演会「ワールドカップを楽しもう！ 女子サッカー＆ラグビーの読み方・楽しみ方 『Number』をつくってきた編集者、スポーツジャーナリストに誌面作りの魅力を聞く」	7月1日	多摩図書館 セミナールーム	113 名
	大学ゼミ発表会『『大学ゼミ×雑誌』成果発表会 2024 ～雑誌と社会のかかわりについて考えよう～』	1月27日	Web会議ツールによる オンライン開催	80 名
子供読書活動 推進事業	登録制乳幼児おはなし会「わらべうたの会」	6月7日、7月12日、 8月2日、9月6日、 10月4日、11月1日、 12月6日、1月10日、 2月7日、3月6日	多摩図書館	延141 名
	登録制乳幼児おはなし会「ウリボウの会」	同上		延73 名
	自由研究講座「わたしは新聞記者！ 図書館を探検してはがき新聞を作ろう」	7月29日		86 名
	都立学校教職員対象「授業で役立つ！ ブックトーク講座」	8月15日		18 名
	都立学校新任学校司書対象「学校支援ガイドダンス付き 図書館ツアー」	8月9、10、14日		延17 名
	小学生対象おはなし会	12月22日		13 名
図書館見学ツアー	全14回 (バックヤード2回、夏休み手作り和本体験ツアー1回、夏休み図書館おしごと見学ツアー1回、図書館でたどる東京今昔ツアー1回、図書館でアートに触れるツアー1回、図書館ナイトツアー1回、手話で巡る図書館ツアー1回、本の修復見学と和本づくりツアー1回、オンデマンドツアー5回)	6月6日～3月20日	中央図書館	151 名
	全5回 (バックヤード5回)	7月14日～1月11日	多摩図書館	56 名
ショートセミナー	全9回 (業界情報の調べ方1回、明治から最新まで一気に調査！ 新聞記事探索1回、調べ方講座「タイムスリップして、推しに会いに行く」1回、日経テレコンの使い方1回、雑誌の専門図書館「大宅壮一文庫」の魅力と使い方1回、没年調査ソン1回、国立国会図書館デジタルコレクションの使い方1回、江戸東京調べ案内1回、「有価証券報告書」が見られる！ 「eol」活用講座1回)	6月29日～3月13日	中央図書館	71 名
	全8回 (スポーツ関係記事を調べる～雑誌編～1回、スポーツ関係記事を調べる～新聞編～1回、地方紙の記事を調べる1回、音楽関係記事を調べる～雑誌編～1回、音楽関係記事を調べる～新聞編～1回、官報の記事を調べる1回、女性誌の記事を調べる1回、ビジネス情報を調べる1回)	7月20日～3月14日	多摩図書館	29 名
体験型ゲームイベント	図書館LARP「BOOK WORLD」	10月28日	中央図書館 (主催：図書館総合展 運営委員会 協力：中央図書館 (施設提供館))	参加者 19 名 見学者 6 名

区 分		日程	会場	参加者数
重点的情報サービスに係る 関係機関主催の連携事業	「ホップ！ステップ！スタートアップハイスクール(高校生ビジネスプラン・グランプリ ビジネスプラン作成講座)」(主催 日本政策金融公庫)	8月1日、8月8日	中央図書館交流ルーム	計33 名
	「病気があっても大丈夫 生活するための役立つ情報」(主催 東京都がん診療連携協議会 相談・情報部会 担当者連絡会 図書館連携チーム)	11月29日	中央図書館交流ルーム	11 名

(3) 映画会（多摩図書館）

区 分	内 容	日程	開催回数	参加者数
定例映画会	「雨にちなんだアニメ」 ①グランパー すてきなおじいちゃん - ②10ぴきのかえる ③かっぱの雨ごい ④いたずらあまんじゃく	6月4日	1回	46名
特別映画会	「インビクタス」	8月6日	1回	27名
	「小さなバイキングビッケ」 ①ビッケとクジラの親子 ②ビッケと大あざらし ③世界で最初の消防隊	8月17日	1回	41名
定例映画会	「秋にちなんだおはなし」 ①パパ、お月さまとって！ ②どんぐりと山猫 ③グリーンヴァレー物語 -ボウさんと秋風- ④竹取物語	10月1日	1回	80名
	「東京の文化財をテーマとしたドキュメンタリー」 ①東京の古建築 ②ああ天平の大伽藍 ③武蔵野の民家 ④伝統に生きる村山大島紬	10月19日	1回	32名
	「冬にちなんだアニメ」 ①笠地蔵 ②雪渡り ③スノーマン ④ファーザー・クリスマス	12月3日	1回	53名
	「来年の干支「辰」に関連したアニメ等」 ①木龍うるし ②竜の子太郎	12月21日	1回	27名
	「節分にちなみ鬼が登場するアニメ」 ①おにたのぼうし ②豆つぶころころ ③じごくのそうべえ ④おにのたいこ	2月4日	1回	36名
	「鬼がテーマのドキュメンタリー」 ①鬼すべ ②みちのくの鬼たち 鬼剣舞の里 ③国東の修正鬼会 鬼さまが訪れる夜	2月15日	1回	16名

2 区市町村立図書館職員等への研修等

(1) 区市町村立図書館職員等への専門的研修及び講師派遣

ア 目的

区市町村立図書館職員等を対象として専門的な研修を実施することにより、都内全域の図書館サービスの向上等に寄与することを目的とする。

イ 実施形態

- ・情報サービス研修（情報サービスに関する知識・技能の向上を図る。）
- ・障害者サービス研修（通常の方法での読書が困難な利用者へのサービス提供方法の向上を図る。）
- ・製本研修（資料の基礎的な修復を通して、資料保全に関する知識・技術の向上を図る。）
- ・講師派遣（区市町村立図書館等からの依頼を受け、都立図書館職員を研修講師として派遣する。）
- ・その他（各業務及び図書館運営に必要な情報の提供並びに他自治体の職員との交流の場を提供する。）

区分	研修・見学会・担当者会名			会 場	回数	修了者数
情報サービス研修	レファレンス研修	テーマ別研修「東京情報」		中央図書館	1 回	48 名
		テーマ別研修「美術情報」			1 回	31 名
		テーマ別研修「新聞・雑誌情報」			1 回	37 名
		テーマ別研修「ビジネス情報」			1 回	38 名
		テーマ別研修「健康・医療情報」		オンデマンド配信		
	子供の読書に関する講座	児童図書館専門研修Ⅰ（全3日間）		多摩図書館	1 回	61 名
		児童図書館専門研修Ⅱ		多摩図書館	1 回	54 名
サービス障害者研修	音訳者講習会	初級研修	（全6日間）	多摩図書館	1 回	22 名
		中級研修	（全6日間）	中央図書館	1 回	22 名
		専門研修		中央図書館	1 回	54 名
	障害者サービス研修			中央図書館	1 回	59 名
講師派遣	令和5年度利用支援サービス協力員スキルアップ講習会（5月17日）			狛江市立中央図書館（1名派遣）	1 回	19 名
	障がい者サービス担当職員研修（9月29日）			足立区立中央図書館（1名派遣）	1 回	12 名
	令和5年度稲城市立図書館音訳者研修（10月19日）			稲城市立図書館（1名派遣）	1 回	9 名
	図書館おはなしボランティア ステップアップ講座（絵本の総論）（10月20日）			ルミエール府中（府中市立中央図書館）（1名派遣）	1 回	60 名
	読み聞かせボランティアステップアップ講座3（特別支援学校での読み聞かせ）（12月8日）			大田区立羽田図書館（1名派遣）	1 回	20 名
	ボランティア合同研修会（おはなし会）（1月21日）			東大和市立中央図書館（1名派遣）	1 回	30 名
	令和5年度レファレンス中級研修（1月25日）			世田谷区立中央図書館（2名派遣）	1 回	22 名
	ボランティア養成講座（お話会のすすめ方を学ぶ）（2月11日）			羽村市図書館（1名派遣）	1 回	16 名
製本研修	資料保全（製本）研修			中央図書館	2 回	39 名
見学会	千代田区立千代田図書館学校支援担当職員研修（館内見学及び選書のための情報収集）（9月20日）			多摩図書館	1 回	12 名
その他（担当者会等）	東京都公立図書館地域資料担当者会		第1回（9月28日）	Web会議ツールによるオンライン開催	1 回	47 名
			第2回（2月28日）	中央図書館	1 回	52 名
	都・区市町村立図書館協力レファレンス担当者会			中央図書館	1 回	31 名
				オンライン同時配信	1 回	20 名
	障害者サービス事務担当者連絡会			中央図書館	1 回	46 名
	児童・青少年サービス担当者会			多摩図書館	1 回	52 名
	東京都図書館研究交流会	新館見学会	第1回（12月21日）	多摩市立中央図書館	1 回	48 名
			第2回（1月18日）	本の森ちゅうおう（中央区）	1 回	29 名
		講演会	第1回（7月28日）	中央図書館	1 回	57 名
	東京都公立図書館長連絡会	全体会	第1回（8月23日）	中央図書館	1 回	27 名
			第2回（3月1日）		1 回	17 名
	協力事務担当者会	第1回	5月31日	多摩図書館	1 回	59 名
		第2回	12月6日	中央図書館	1 回	52 名

(2) 関係機関等への講師派遣

区分	研 修 名	主 催 者	派遣者数	回数	受講者数
講師派遣	女性起業ゼミ「市場調査手法の紹介」（4月28日、7月25日、11月8日、1月16日）	東京都中小企業振興公社	1 名	4 回	32 名
	情報サービス論（7月18日）	駿河台大学	1 名	1 回	60 名
	児童図書館員養成専門講座（9月28日）	公益社団法人日本図書館協会	1 名	1 回	16 名
	茨城県図書館協会第1回児童サービス研修会（10月11日）	茨城県立図書館、茨城県図書館協会	1 名	1 回	32 名
	児童サービス論（11月25日）	文化学園大学	1 名	1 回	23 名
	児童サービス研究会（2月16日）	佐賀県立図書館	1 名	1 回	41 名
	市場調査（マーケティング）の強い味方！東京都立中央図書館の活用方法（2月28日）	東京都中小企業振興公社	1 名	1 回	124 名
	児童サービス研修会（3月6日）	栃木県公共図書館協会、栃木県立図書館	1 名	1 回	41 名

3 学校教育活動への支援事業

(1) 目的

「第四次東京都子供読書活動推進計画」（令和3年3月東京都教育委員会策定）等に基づく諸事業をはじめ、児童・生徒の読書活動や学習活動及び教職員の授業研究や学校図書館運営等に対する支援を実施する。

(2) 事業

ア 学校レファレンスサービス

来館、電話、Eメール及びファクシミリ等による問合せに対し、回答を行った。

(7) レファレンス件数 26件 (中央図書館 20件、多摩図書館 6件)
(授業用参考資料並びに修学旅行及び移動教室の事前学習用資料の紹介等)

(4) 子供の読書に関する相談 29件
(子供読書活動推進資料の活用法、資料の加工使用の許諾及び著作権や研修講師の情報等)

イ 職業インタビューの受入れ

学校からの申込みを受け、司書の仕事の説明及び館内見学を行った。

受入校(学年 参加者数)	実施場所	校数	参加者数
聖心女子学院(高等科1年1名)、京都市立西京高等学校附属中学校(3年4名)	中央図書館	2校	5名

ウ 職業体験・インターンシップ等の受入れ

学校からの申込みを受け、職員の指導により、資料の選定、整理、出納及び整架などの図書館の基本的な仕事を体験した。

受入校(学年 参加者数)	実施場所	校数	参加者数
神津島村立神津中学校(2年2名)、東京学芸大学附属国際中等教育学校(2年4名)、港区立高陵中学校(2年2名)、都立白鷗高等学校附属中学校(2年4名)、都立西高等学校(1年3名)	中央図書館	5校	15名
東京学芸大学附属国際中等教育学校(2年3名)、都立富士高等学校附属中学校(2年3名)、都立武蔵高等学校附属中学校(2年2名)、都立武蔵台学園(小学部6年20名)	多摩図書館	4校	28名

エ 校外学習の受入れ

学校からの申込みを受け、実施した。中央図書館では、主に図書館を利用した文献調査方法の説明及び館内見学を行った。多摩図書館では支援内容や参加者数に応じてセミナールームも活用し、校外学習の受入れを行った。

	受入校等	主な支援内容	実施場所	校数	参加者数
(小学校)	国分寺市立第四小学校(双葉学級)	館内見学、おはなし会	多摩図書館	1校	22名
(中学校)	成蹊中学・高等学校	館内見学	中央図書館	1校	4名
	都立立川国際中等教育学校(1年)	館内見学	多摩図書館	1校	5名
(高校)	都立小山台高等学校(1年314名) 成城学園中学校高等学校(高校3年24名)	図書館入門 調べ学習の受入れ	中央図書館	2校	338名
	十文字高等学校(1年及び2年30名) 佼成学園女子高等学校(2年17名)	図書館入門 レポート・論文入門	中央図書館	2校	47名
	都立三田高等学校(1年)	レポート・論文入門	中央図書館	1校	307名
	日本芸術高等学園(1-3年計3回81名) 都立立川国際中等教育学校(図書委員6名) 都立南多摩中等教育学校(図書委員1名)	図書館入門	多摩図書館	3校	88名
	都立武蔵台学園(高等部2年44名、高等部3年23名)	館内見学	多摩図書館	1校	67名
(特別支援学校)	都立武蔵台学園(高等部1年計2回)	図書館入門	多摩図書館	1校	延36名
	都立調布特別支援学校(中学部3年27名)、 都立八王子西特別支援学校(高等部2年21名)	ブックトーク	多摩図書館	2校	48名
	都立武蔵台学園(中学部1年)	自由読書	多摩図書館	1校	10名

オ 出張おはなし会・選書支援・資料貸出等の支援

実施校等		主な支援内容	実施部署	校数	参加者数
(中学校)	早稲田大学系属早稲田実業学校中等部(1回、10名)	読み聞かせ講座	多摩図書館	1校	10名
(高校)	都立世田谷泉高等学校(3回、59名) 都立世田谷総合高等学校(2回、17名) 都立福生高等学校(1回、13名) 都立瑞穂農芸高等学校(1回、10名)	読み聞かせ講座	多摩図書館	4校	99名
(特別支援学校)	都立田園調布特別支援学校 都立板橋特別支援学校 都立水元小合学園 都立しいの木特別支援学校 都立多摩桜の丘学園 都立調布特別支援学校 都立武蔵台学園 都立羽村特別支援学校 都立八王子東特別支援学校 都立八王子西特別支援学校 都立小平特別支援学校 都立東久留米特別支援学校	学校図書館選書等相談会	多摩図書館	12校	-
	都立小金井特別支援学校(6回、158名) 都立調布特別支援学校(15回、延190名) 都立八王子西特別支援学校(16回、227名) 都立八王子東特別支援学校(6回、延74名) 都立武蔵台学園(6回、78名) 都立久我山青光学園(2回、20名) 都立葛飾ろう学校(1回、25名) 都立立川学園(3回、28名)	出張おはなし会	多摩図書館	8校	800名

カ 啓発資料・ブックリスト等の提供（多摩図書館）

「学校支援ツール」を希望する学校へ個別配布

103部

※配布した「学校支援ツール」の内容

「TAMA selection」「読み聞かせABC」「特別支援学校での読み聞かせ」「これならできる！自由研究111枚のアイデアカード集冊子版」「読み聞かせに挑戦！中学生・高校生編」「ほん・本・ごほん」「羅針盤」「羅針盤Ⅱ」「扉をあけて」「しずかなひととき(改訂版)」「本のよるこびを子どもたちに」「子どもたちに物語の読み聞かせを」「ひとりでよめるよ」「乳幼児おはなし会ハンドブック」

キ その他生徒向け事業への職員派遣

実施校・研修主催者等	内 容	実施部署	参加者数
都立三田高等学校	レポート・論文の書き方、図書館の使い方の講義(7月7日)	中央図書館	270名
東京都教職員研修センター	次世代リーダー育成道場 事前学習(8月25日、12月3日)	中央図書館	計131名 (1回目:69名、 2回目:62名)

ク 教職員向けの研修講師等の派遣

実施校・研修主催者等	内 容	実施部署	参加者数
教育庁都立学校教育部高等学校教育課	都立学校図書館職員等研修会(11月24日)	中央図書館	116名
教育庁都立学校教育部高等学校教育課	都立学校図書館職員等研修会 新任研修(5月12日)	多摩図書館	101名
教育庁都立学校教育部高等学校教育課	都立学校図書館職員等研修会 専門実務研修(7月25日)		158名
東京都教職員研修センター	専門性向上研修 読書活動(10月6日)		67名
杉並区立済美教育センター	杉並区学校司書研修(12月25日)		30名
都立光明学園	全国公開研究会(Web開催)(2月3日)		24名

ケ 教職員向けの見学会の受入れ

受入校		実施場所	校数	参加者数
(中学校)	市川市立第七中学校(8月1日)	多摩図書館	1校	7名
(小中学校)	文京区内小学校及び中学校(8月23日)	多摩図書館	希望校が参加	16名

4 職員研修等

(1) 目的

都立図書館職員を対象に、対応すべき課題等に重点を置いた実務的な研修等を実施し、職務遂行上求められる能力や専門知識・技術の習得及び向上を図ることを目的とする。

(2) 実施形態

実務研修及び派遣研修

区分	研 修 名		会 場	回数	修了者数
実務研修	転入職員等研修1		中央図書館	1 回	16 名
	転入職員等研修2		多摩図書館	1 回	15 名
	新任司書職員研修	(前期)	中央図書館	1 回	3 名
		(後期)	中央図書館	1 回	4 名
	都立図書館職員研修 「データベース入門 -図書館情報システムを知る-」		中央図書館 (オンライン・オンデマンド配信)	1 回	106 名

区分	研 修 名	主 催	日 数	受講者数
派遣研修	中堅職員ステップアップ研修Ⅱ	公益社団法人日本図書館協会	12 日間	1 名
	全国公共図書館研究会サービス部門総合・経営部門	公益社団法人日本図書館協会	2 日間	2 名
	図書館司書専門講座	文部科学省、国立教育政策研究所	10 日間	1 名
	レファレンス協同データベース事業フォーラム	国立国会図書館	1 日間	2 名
	第7回ワークショップ「図書館員の未来準備」	株式会社未来の図書館研究所	5 日間	1 名
	医学情報サービス研究大会	医学情報サービス研究大会実行委員会	2 日間	1 名
	ビジネス・ライブラリアン講習会	ビジネス支援図書館推進協議会	7 日間	1 名
	レファレンス・サービス研修—科学技術情報の調べ方—	国立国会図書館	1 日間	1 名
	レファレンス・サービス研修—人文情報の調べ方—	国立国会図書館	1 日間	2 名
	法律図書館連絡会 基礎講座	法律図書館連絡会	1 日間	2 名
	全国公共図書館研究会児童・青少年部門	公益社団法人日本図書館協会	2 日間	1 名
	アジア情報研修	国立国会図書館・アジア経済研究所	2 日間	1 名
	第43回(2023年)児童図書館員養成専門講座	公益社団法人日本図書館協会	17 日間	1 名
	児童文学連続講座	国立国会図書館国際子ども図書館	2 日間	1 名
	漢籍整理長期研修	東洋文化研究所	10 日間	1 名
	文化財の虫菌害・保存対策研修会	公益財団法人文化財虫菌害研究所	2 日間	1 名
	保存フォーラム 第34回	国立国会図書館	1 日間	4 名
	サビエ研修会	特定非営利活動法人 全国視覚障害者情報提供施設協会(全視情協)	2 日間	1 名
	障害者サービス担当職員養成講座(初級)	公益社団法人日本図書館協会	1 日間	1 名
	AIプロジェクトの進め方～企画から運用の勘所～	株式会社富士通ラーニングメディア	1 日間	1 名
	組み合わせ最適化入門～Excelで学ぶ最適化基礎～	株式会社富士通ラーニングメディア	1 日間	1 名
	準デジタル・アーキビスト資格取得講座	TRC-ADEAC株式会社	1 日間	2 名
	図書館等職員著作権実務講習会	文化庁著作権課	2 日間	3 名
	図書館等職員著作権実務講習会(オンデマンド)	文化庁著作権課	1 日間	4 名
	全国図書館大会 岩手大会	公益社団法人日本図書館協会	2 日間	4 名
	データベース基礎	株式会社富士通ラーニングメディア	1 日間	1 名
	SQL基礎	株式会社富士通ラーニングメディア	2 日間	1 名
	動画活用・ディレクション基礎講座	株式会社宣伝会議	1 日間	1 名

5 刊行物及びホームページでの情報提供

(1) 刊行物一覧表（令和5年度中に発行した刊行物）

名 称	発行年月日	発行部数
【中央図書館】		
事業概要 令和5年度版	令和5年7月	800部
東京都公立図書館録音・点訳図書、拡大写本新作情報 No. 222～No. 227	令和5年5月～令和6年3月	各300部
視覚障害者サービス情報 No. 74～No. 76	令和5年6月～令和6年2月	各250部
東京都立中央図書館50周年記念誌	令和6年3月	300部
都立中央図書館で学ぶ！はじめてのレポート・論文作成ガイド 改訂2版	令和6年3月	5,000部
【多摩図書館】		
特別支援学校での読み聞かせ 都立多摩図書館の実践から 増訂版	令和6年3月	3,000部

(2) 有償刊行物（都庁第一本庁舎3階 都民情報ルーム等で販売）

名 称	販売開始日	頒布価格	令和5年度販売部数
これならできる！自由研究 111枚のアイディアカード集 冊子版	平成26年6月5日	139円+税	63部
読み聞かせABC 集団の子供たちへの読み聞かせに 改訂版	平成31年3月28日	139円+税	323部

(3) 東京都立図書館ホームページの主な掲載情報

レファレンス事例データベース	都立図書館に寄せられたレファレンス事例を再構成し、キーワード等で検索することができるページ
江戸・東京デジタルミュージアム	都立図書館が所蔵する江戸・東京の資料を通じて、歴史や文化を楽しみながら学ぶことができるページ
クローズアップ都市・東京情報	都政や東京のニュースや話題をとりあげ、インターネット情報と都立図書館の資料を紹介するページ
都市・東京の記憶	都立中央図書館が所蔵する、明治期からの絵葉書や写真帖など東京関係の資料を、画像で紹介するページ
TOKYOアーカイブ	都立図書館が所蔵する江戸・東京関係のデジタル化資料及び東京都行政資料を、検索・閲覧することができるページ
こどもページ	テーマ別の本の紹介や、図書館に新しく入った児童書などを紹介する、子供向けのページ
青少年のページ	進路や仕事など将来のことを考えるのに役立つ本や、教科学習に関連する本などを紹介する、中高生世代向けのページ
東京の公立図書館情報	都内にある公立図書館で所蔵している本や資料を検索したり、所在地や行き方を調べたりすることができるページ
専門図書館ガイド	都内及び近県にある専門図書館等（特定分野の資料を所蔵する資料室や図書館）を、分野等で検索することができるページ
区市町村立図書館新聞雑誌総合目録	都内の区市町村立図書館で所蔵している新聞雑誌を検索したり、館別のタイトル一覧を見たりすることができるページ

VI 所蔵コレクションの紹介

1 中央図書館

(1) 特別文庫室資料

特別文庫室では江戸時代後期から明治時代中期の資料を中心に、約24万3千点(冊)を所蔵している。これらの資料は、①大正天皇即位礼に際し、東京市に下賜された10万円を基金として東京関係資料を収集した東京誌料(ア)、②第二次世界大戦中に東京都が民間の学者や蔵書家から買い上げ、疎開させることによって戦災を免れた戦時特別買上図書(イ〜ケ)、③寄託・寄贈資料など(コ〜セ)からなっている。

資料は和書、漢籍、絵図、地図、錦絵、建築図面、書簡、拓本、書画、写真など多岐にわたり、当館でしか存在が確認できない資料も多く含まれている。以下、資料の点数(冊数)には複製資料を含まない。

ア 東京誌料 約43,500点(冊)

物語・草双紙・人情本などの文学書類、長禄年代(1450年代)から大正・昭和に至るまでの地図類、武鑑、錦絵、双六類を中心として、地誌、歴史、風俗、伝記、美術、音曲、演劇、娯楽、法制、産業、経済等、あらゆる分野の東京の郷土誌料を収集している。江戸城造営の大棟梁の職にあった甲良家の「江戸城造営関係資料」646点は、昭和62年に国の重要文化財に指定されている。

イ 加賀文庫 約24,100点(冊)

加賀豊三郎氏(1872-1982)の旧蔵書で、和書、古文書、尺牘、名家手蹟等を主とする。特に1,000余点に及ぶ黄表紙並びに数百点の洒落本は、近世文学の世界では珍重されているものである。

ウ 諸橋文庫 約20,000冊

文学博士諸橋轍次氏(1883-1982)旧蔵の和漢書。経学、史書類及び集類、叢書及び類書、学者の自筆稿本及び書入本、明版及び清の印本、名家の旧蔵本及び自署本等、漢籍を主とする文庫である。

エ 河田文庫 約1,900冊

元大蔵大臣(昭和15)河田烈氏(1883-1963)の旧蔵書で、祖父河田迪斎から代々集積

された書籍である。曾祖父に当たる佐藤一斎の「愛日楼全集」56巻の写本、「言志録」の稿本、一斎自筆の日記「腹暦」22冊ほか、一斎の手写本、書入本、著作、自筆書簡等、貴重なものが多く含まれている。

オ 市村文庫 約30,200冊

市村瓊次郎氏(1864-1947)の旧蔵書で、漢籍、朝鮮図書、東洋史関係の逐次刊行書などからなり、東洋史研究家にとっては貴重なコレクションである。市村氏の出身地である茨城県の郷土資料なども含まれている。

カ 井上文庫 約24,300冊

井上哲次郎(巽軒)氏(1885-1944)旧蔵書のうちの和装本を集めた文庫である。特に哲学、宗教関係資料が多く、中国思想、日本思想、儒教はもとよりキリスト教や倫理学にまで及んでいる。漢詩文なども所蔵する。

キ 実藤文庫 約7,600冊

実藤恵秀氏(1896-1985)の旧蔵書で、清末以降の日中文化交流に関する資料の文庫である。中国人の日本旅行記、留学生を対象とした日本語の学習書、日本書の漢訳、中国雑誌の創刊号等を収蔵する。魯迅が創刊した雑誌なども含まれている。

ク 渡辺刀水旧蔵諸家書簡文庫 約8,500点

元軍人であり、人物研究家としても活躍した渡辺金造(刀水)氏(1874-1965)が、現役中から退役後にかけて収集した、近世末期から近代の各分野にわたる人物の書簡を収録する。新井白石、伊藤圭介関係書簡も含まれる。

ケ 特別買上文庫 諸家 約38,600点(冊)

戦時特別買上図書のうち、上記イ〜ク以外の30余氏の旧蔵書である。

(ア) 国書 言語・文学 約6,000冊

言語関係資料には安藤文庫(安藤正次氏旧蔵)の落合直澄旧蔵書、文学関係資料には池田文庫(池田亀鑑氏旧蔵)の伊勢物語の様々な版本や蜂屋文庫(蜂屋茂橘氏旧蔵)の草双紙類600余点がある。

(イ) 国書 総記・その他 約10,000点(冊)

岡文庫(岡千仞^{せんじん}[鹿門]氏旧蔵)の稿本類、
反町文庫(反町茂雄氏旧蔵)の仏教関係古
写本、中山文庫(中山久四郎氏旧蔵)の朝
鮮使節関係資料、宋戸文庫(宋戸昌^{ししどさかり}氏旧蔵)
の海雲楼博物雜纂ほかがある。

(ウ) 漢籍 約 20,000 冊

漢籍及び準漢籍をまとめ、四庫分類により整理されている。かつての著名な古書店文求堂の田中慶太郎・乾郎父子旧蔵資料を始めとして、中山文庫、岩垂文庫(岩垂憲^{いわしたれのり}徳氏旧蔵)、蜂屋文庫、横山文庫(横山健堂^{けんどう}氏旧蔵)にも伝本の少ない資料が多い。

(エ) 拓本 約 1,600 点

「日本」の部と「中国・朝鮮」の部に分け、碑・器物等の成立年代順の目録がある。

(オ) 書画 約 1,000 点

主として、渡辺金造氏旧蔵の軸装、加賀豊三郎氏旧蔵の一枚もの、及び蜂屋茂橘氏旧蔵の扇面とからなる。いずれも副次的収集によるものと思われ、特に系統だてはないが、中には希覯^{きこう}なものも含まれる。

コ 近藤記念海事財団文庫 約 1,500 点

元日本郵船株式会社社長近藤廉平氏(1848-1921)の海運事業に対する功績を顕わすため設立された近藤記念海事財団が、その記念事業の一つとして設置したもので、昭和6年に当時の市立日比谷図書館に寄託された。

昭和20年に戦災で半数以上が焼失したが、現存する資料は、海運、航海、漂流記、海事史、海事行政等に関するもので、この種の研究、調査には不可欠の貴重な資料である。

サ 青淵論語文庫 約 5,800 冊

論語を愛好した渋沢栄一(青淵^{せいえん})氏(1840-1931)が創始した文庫で、大正12年の関東大震災でその大半を失ったが、孫の敬三氏(1896-1963)がその意志を継ぎ、収集したものである。論語を主軸とした四書類の正文・古注・朱注・注釈・擬本等を収録する。昭和38年に都立日比谷図書館に寄贈された。

シ 中山太郎収集詫状類 約 200 点

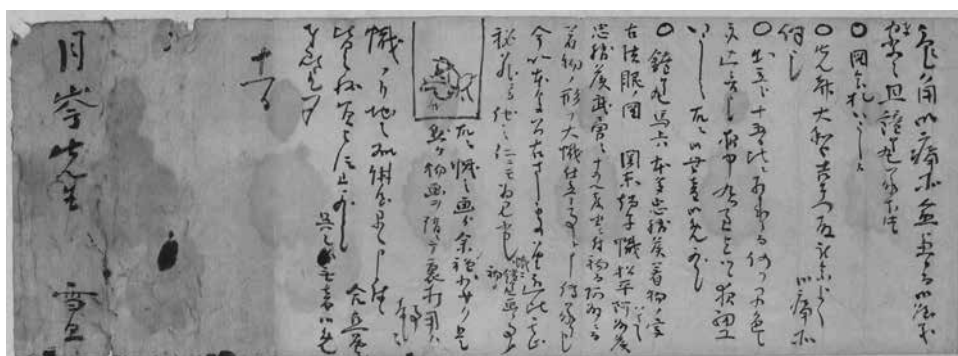
中山太氏(1876-1947)が収集した、正保2(1645)年から大正4(1915)年にかけての、詫状を中心とした文庫である。他に類を見ない珍しいコレクションである。

ス 木子文庫 約 29,000 点

代々内裏の作事に関わる大工であった木子家伝来の資料で、1975年に木子清忠氏(1913-1995)から寄贈された建築関係資料である。明治宮殿及び明治期洋風建築の図面類が最も多く、江戸中期以降の近畿地方の寺社、御所等の建築図、工匠他家の資料も含まれている。

セ 新収資料 約 7,800 点

戦後寄贈された資料、補完のために購入した資料等が含まれている。



『江戸名所圖繪稿本』 齋藤(藤原)縣麻呂書 齋藤月岑書 東京誌料 025-27

『江戸名所圖會』(請求記号: 加 256 ほか)の著述に関わる覚書など 57 枚の紙箋が貼込まれている。掲出は、絵師の長谷川雪旦が、著者の齋藤月岑に宛てた書簡で、本多忠勝が所持したという鍾馗^{しょうき}の旗指物について、絵入りで書かれている。『江戸名所圖會』は、7 巻 20 冊から成る江戸とその近郊の絵入り地誌で、月岑が祖父と父から編纂事業を引き継ぎ、天保 5 年(1834)に前半 10 冊、天保 7 年(1836)に後半 10 冊を刊行した。実地調査に基づく記述や雪旦による緻密な絵が高く評価されている。

(2) 東京資料

主に明治以降に刊行された江戸及び東京関係資料を包括的に収集している。都の各部局の刊行物及び区市町村の編集発行物などの行政資料を中心に、個人、出版社及び各種団体で編集発行された郷土資料など図書約 273,800 冊を所蔵している。また、都及び区市町村の広報紙をはじめとする新聞は約 640 種、雑誌は約 2,200 種がある。

「TOKYO アーカイブ」や「都市・東京の記憶」では、絵葉書、写真帖、近代の地図、東京府・東京市関係資料等、所蔵資料の一部の画像を公開している。

(3) 海外資料

利用者の調査研究活動及び教養の向上に資するため、外国語図書を幅広く所蔵している。特に言語辞典、各分野の事典等参考図書の充実を図っている。

参考図書以外では、自然科学・工学・産業の分野は概説書等が中心であるが、人文科学関係等については、日本における研究や出版の少ないもの、学術的に価値の高いもの等、専門書や研究書も収集・所蔵している。

日本に関する外国語図書、日本文学の各国語翻訳書も収集しており、蔵書において特色の一つとなっている。

ア 洋書

英語を中心に、ドイツ語、フランス語、ロシア語、スペイン語、イタリア語及びその他の外国語で書かれた図書約 192,800 冊（中国語、韓国・朝鮮語図書を除く）がある。

在日外国人の就業や生活に役立つ資料や他文化への理解を深める資料を所蔵している。

イ 中国語、韓国・朝鮮語図書

(ア) 中国語図書

中国、香港特別行政区及び台湾などで発行された現代中国語図書約 77,800 冊がある。

1972 年から収集を開始し、古典や現代小説などの文学や、社会科学、歴史・地理、中国医学、芸術などの幅広いジャンルにわたっている。

(イ) 韓国・朝鮮語図書

大韓民国と朝鮮民主主義人民共和国両国で発行された現代書を中心とする韓国・朝鮮語図書約 26,800 冊がある。

1975 年から収集を開始し、収集分野は多岐にわたるが、なかでも韓国・朝鮮の歴史や地理、政治・経済や風俗風習、さらに伝統芸能や文学に関する資料が充実している。

2 多摩図書館

(1) 山本有三文庫

小説家、劇作家である故山本有三氏（1887-1974）の旧蔵書で、文学・国語・歴史を中心とした図書約 13,500 冊、雑誌約 300 誌がある。

(2) 雑誌創刊号コレクション

「東京マガジンバンク」では、「創刊号コレクション」として雑誌の創刊号を収集し、令和 6 年 3 月末現在約 8,600 誌を所蔵している。

創刊号は、発行年代順やジャンル別に比較し、通覧することにより、時代の流れが見えるものであり、貴重なコレクションである。

(3) 児童・青少年資料

明治以降に日本で出版された児童書（図書・雑誌）、海外で刊行された児童書、児童図書館についての研究書、青少年用図書など約 270,000 冊を所蔵している。内、中国、韓国・朝鮮語図書を中心としたアジア系諸言語の児童図書は、約 7,700 冊である。

貴重なコレクションとしては、明治期刊の「ちりめん本」といわれる日本の昔話絵本シリーズがある。これは、縮緬ちりめんのように縮れた和紙を使い、外国人向けに刊行されたものである。

また、戦前から戦後にかけて子供向けに発行された「少国民新聞」の一部を所蔵している。

青少年用資料は、調べ学習、進路選択を支援する資料を中心に、幅広い分野から厳選し所蔵している。

Ⅶ 東京都立図書館協議会

1 東京都立図書館協議会の概要

東京都立図書館協議会は、図書館法第 14 条及び東京都立図書館条例第 3 条に基づいて設置されている機関であり、都立中央図書館長の諮問に応ずるとともに、図書館サービスについて意見を述べる役割を担っている。

2 第 31 期東京都立図書館協議会について

第 31 期東京都立図書館協議会は、令和 5 年 7 月 1 日に設置された。「都立図書館が DX を推進するための課題について」をテーマとして協議し、令和 5 年度は定例会を 3 回開催した。

< 定例会 >

第 1 回（令和 5 年 7 月 27 日開催）

- (1) 協議テーマの決定
- (2) 今後の協議の進め方及び作業部会の設置
- (3) 今後の協議スケジュール

第 2 回（令和 5 年 11 月 30 日開催）

- (1) 委員からの報告
- (2) 令和 4 年度東京都立図書館自己評価について

第 3 回（令和 6 年 2 月 29 日開催）

委員からの報告

3 第 31 期東京都立図書館協議会委員名簿（任期 令和 5 年 7 月 1 日～令和 7 年 6 月 30 日）

氏名（五十音順）	職名（令和 6 年 3 月現在）
小黒 仁史	大田区教育委員会教育長
坂本 真樹	電気通信大学副学長・教授
新保 史生	慶應義塾大学総合政策学部教授
竹内 道則	武蔵野市教育委員会教育長
寺田 麻佑	一橋大学大学院ソーシャル・データサイエンス研究科教授
◎野末 俊比古	青山学院大学教育人間科学部教授
野村 敦子	株式会社日本総合研究所調査部主任研究員
松永 今日子	東京都立南平高等学校校長
○松本 直樹	慶應義塾大学文学部人文社会学科図書館・情報学専攻准教授
村井 麻衣子	筑波大学図書館情報メディア系准教授
山田 麗奈	公募委員（フリーアナウンサー、会社役員）
吉澤 健仁	公募委員（会社役員、地方自治体アドバイザー）

◎議長 ○副議長

東京都立図書館協議会答申等の沿革

期	期間	答申等年月	答申等
第 1 期	昭和 35 年 2 月 ～昭和 37 年 1 月	昭和 37 年 2 月	東京都の公共図書館総合計画 (答申)
第 2 期	昭和 37 年 2 月 ～昭和 39 年 1 月	昭和 38 年 7 月	東京都立日比谷図書館分館の建設について (意見具申)
第 4 期	昭和 41 年 3 月 ～昭和 43 年 2 月	昭和 43 年 2 月	都立日比谷図書館における司書職のあり方 (答申)
第 6 期	昭和 45 年 4 月 ～昭和 47 年 3 月	昭和 46 年 12 月	東京都立中央図書館の専門職員の養成に関する答申 (答申)
第 8 期	昭和 47 年 7 月 ～昭和 49 年 6 月	昭和 49 年 6 月	東京都立中央図書館における心身障害者サービスの あり方 (答申)
第 11 期	昭和 55 年 9 月 ～昭和 57 年 9 月	中間答申 昭和 56 年 6 月 最終答申 昭和 57 年 5 月	都立図書館の体系化及び近代化に関する答申 (答申)
第 15 期	昭和 63 年 10 月 ～平成 2 年 10 月	中間答申 平成 2 年 3 月 最終答申 平成 2 年 10 月	新日比谷図書館の機能について (答申)
第 16 期	平成 3 年 1 月 ～平成 5 年 1 月	平成 4 年 12 月	都立図書館の資料の保存機能について (意見具申)
第 17 期	平成 5 年 4 月 ～平成 7 年 4 月	平成 7 年 3 月	都立中央図書館における当面の海外資料サービスの あり方について (意見具申)
第 18 期	平成 7 年 7 月 ～平成 9 年 7 月	平成 9 年 3 月	21 世紀の都民生活を豊かにする都立図書館の創造 －生涯学習社会における都立図書館の役割－ (答申)
第 19 期	平成 9 年 11 月 ～平成 11 年 10 月	平成 11 年 10 月	児童・青少年に対して図書館は何ができるか？ －社会問題への図書館の関わり方－ (提言)
第 20 期	平成 11 年 11 月 ～平成 13 年 10 月	平成 13 年 10 月	高度情報化社会における都立図書館のサービスの あり方 － I T を活用したサービスの革新－ (提言)
第 21 期	平成 14 年 4 月 ～平成 16 年 3 月	平成 15 年 3 月 平成 16 年 2 月	子どもの読書活動推進をはかるために都立図書館は 何をすべきか (提言 1) 都内公共図書館発展のための連携協力について(提言 2)
第 22 期	平成 16 年 10 月 ～平成 18 年 9 月	平成 18 年 3 月	調査研究図書館におけるサービスのあり方について (答申)
第 23 期	平成 18 年 12 月 ～平成 20 年 11 月	平成 20 年 11 月	都立図書館のサービスと図書館改革の評価について (提言)
第 24 期	平成 21 年 5 月 ～平成 23 年 4 月	平成 23 年 3 月	デジタル時代の都立図書館像 (提言)
第 25 期	平成 23 年 5 月 ～平成 25 年 4 月	平成 25 年 3 月	都民の課題解決に役立つ図書館を目指して －より質の高い図書館サービスの追求－ (提言)
第 26 期	平成 25 年 5 月 ～平成 27 年 4 月	平成 27 年 3 月	読書活動の推進に向けた都立図書館の役割について (提言)
第 27 期	平成 27 年 7 月 ～平成 29 年 6 月	平成 29 年 2 月	世界都市・東京を支える情報センターを目指して －2020 年とその先に向けた提言－ (提言)
第 28 期	平成 29 年 7 月 ～令和元年 6 月	平成 31 年 3 月	これからの都立図書館に必要な利用環境について －多様な学びや活動を支える機能－ (提言)
第 29 期	令和元年 7 月 ～令和 3 年 6 月	令和 3 年 3 月	都立図書館ならではのサービスを考える －保有する情報資源の一層の活用を目指して－ (提言)
第 30 期	令和 3 年 7 月 ～令和 5 年 6 月	令和 5 年 3 月	都立図書館の DX とその先にあるサービス (提言)

VIII 資料

1 東京都立図書館館則

(昭和62年 3月20日 東京都教育委員会規則第11号)

最終改正 令和5年7月1日

第1章 総則

(目的)

第1条 この規則は、東京都立中央図書館(以下「中央図書館」という。)及び東京都立多摩図書館(以下「多摩図書館」という。)の運営等に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

(図書館の運営)

第2条 図書館法(昭和25年法律第118号)の趣旨に基づき、中央図書館は、主として情報サービス、都内公立図書館その他の図書館等(以下「都内公立図書館等」という。)に対する協力支援及び図書館未整備地域に対する補完サービスを、多摩図書館は、主として雑誌、児童資料及び青少年資料等に関する情報サービス等を行うものとする。

2 中央図書館及び多摩図書館は、中央図書館の統括の下に、相互に機能を分担し、密接な連携を図り、一体的な運営を行うものとする。

第2章 中央図書館

(事業)

第3条 中央図書館は、次の事業を行う。

- 1 図書館資料の館内利用
- 2 利用者に対する情報サービス
- 3 都内公立図書館等に対する協力支援
- 4 島しょ地域の図書館未整備地域に対する補完サービス
- 5 図書資料(図書館資料のうち視聴覚資料を除く。以下同じ。)のマイクロフィルム及び電子媒体並びに東京に関するフィルム、磁気テープ等の作製
- 6 時事に関する情報及び参考資料の紹介及び提供
- 7 視覚障害者その他視覚による表現の認識に障害のある者(以下「視覚障害者等」という。)に対する資料の音訳及び録音
- 8 図書資料等の複写
- 9 図書館職員等に対する研修
- 10 海外の図書館等との交流
- 11 その他中央図書館の目的達成のために必要な事業(開館時間及び休館日)

第4条 中央図書館の開館時間及び休館日は、別表第1のとおりとする。ただし、東京都教育委員会(以下「教育委員会」という。)は、事情によりこれらを変更し、又は臨時に休館日を指定することができる。

(入退館)

第5条 中央図書館に入館しようとする者は、図書館資料の利用に伴い必要とするものを除き、所持品を所定のロッカーに収納するものとする。

2 中央図書館長(以下この章において「館長」という。)は、図書館の秩序を乱し、又は他人に迷惑を及ぼした者に対し、図書館資料の閲覧の停止又は退館をさせることができる。

(閲覧場所等)

第6条 中央図書館の入館者が図書資料の閲覧等に利用

できる場所は、館長が別に定める。

(視覚障害者サービス室)

第7条 視覚障害者等は、中央図書館の視覚障害者サービス室を利用することができるものとし、その利用については、館長が別に定める。

(利用者の行う複製)

第8条 館長は、東京都立図書館(中央図書館及び多摩図書館をいう。以下同じ。)の図書館資料の複製につき特別の事情があると認める場合には、方法等を指定の上、利用者の機材により複製をさせることができる。

(協力支援に伴う貸出し)

第9条 都内公立図書館等に対する東京都立図書館の図書館資料の貸出しに関しては、館長が別に定める。

第3章 多摩図書館

(事業)

第10条 多摩図書館は、次の事業を行う。

- 1 図書館資料の館内利用
- 2 主として雑誌、児童資料及び青少年資料等に関する利用者に対する情報サービス
- 3 主として雑誌、児童資料及び青少年資料等に関する都内公立図書館等に対する協力支援
- 4 時事に関する情報及び参考資料の紹介及び提供
- 5 視覚障害者等に対する資料の音訳及び録音
- 6 図書資料等の複写
- 7 視聴覚資料の団体に対する館外貸出し
- 8 東京都立図書館条例(昭和39年東京都条例第112号。以下「条例」という。)別表に掲げる施設及び附帯設備(以下「施設等」という。)の貸出し
- 9 その他多摩図書館の目的達成のために必要な事業(開館時間及び休館日)

第11条 多摩図書館の開館時間及び休館日は、別表第一のとおりとする。ただし、教育委員会は、事情によりこれらを変更し、又は臨時に休館日を指定することができる。

(入退館)

第12条 多摩図書館に入館しようとする者は、図書館資料の利用に伴い必要とするものを除き、所持品を所定のロッカーに収納するものとする。

2 多摩図書館長(以下この章において「館長」という。)は、図書館の秩序を乱し、又は他人に迷惑を及ぼした者に対し、図書館資料の閲覧の停止又は退館をさせることができる。

(閲覧場所等)

第13条 多摩図書館の入館者が図書資料の閲覧等に利用できる場所は、館長が別に定める。

2 視覚障害者等は、多摩図書館の音訳室を利用することができるものとし、その利用については、館長が別に定める。

(視聴覚資料の館外貸出し)

第14条 多摩図書館における視聴覚資料の団体に対する館外貸出しの手続については、館長が別に定める。

(未返還団体に対する処置)

第15条 館長は、前条の規定により貸出しを受けた団体が視聴覚資料の返還を怠り、又は督促しても返還しない場合には、以後当該団体に対し、視聴覚資料の利用

をさせないことができる。

(使用の申請)

第16条 施設等を使用しようとする者は、東京都立多摩図書館施設等使用申請書(別記第1号様式。以下「使用申請書」という。)を教育委員会に提出しなければならない。

2 前項の使用申請書の提出の期間は、使用月の前3月以内とする。ただし、教育委員会が特に必要と認めるときは、この限りでない。

(使用の承認)

第17条 使用の承認は、申請を教育委員会が受理した順序による。

2 教育委員会は、前条第1項の規定により申請のあつた使用について承認をしたときは、東京都立多摩図書館施設等使用承認書(別記第2号様式。以下「使用承認書」という。)を交付するものとする。

3 前項に規定する使用の承認を受けた者(以下「使用者」という。)は、その使用の際に同項に規定する使用承認書を係員に提示しなければならない。

(使用時間等)

第18条 施設等の使用時間は、第11条の規定による開館時間にかかわらず、別表第2 1の項上欄に掲げる日において、同項下欄に掲げる使用単位に対応する時間とする。

2 施設等の使用ができない日(以下「使用停止日」という。)は、第11条の規定による休館日にかかわらず、別表第2 2の項のとおりとする。

3 教育委員会は、事情により前2項に定める使用時間及び使用停止日を変更し、又は臨時に使用停止日を指定することができる。

(使用料の額)

第19条 条例第8条で定める額は、別表第3のとおりとする。

(使用料の後納の申請)

第20条 条例第8条ただし書の規定により使用料を後納しようとする者は、東京都立多摩図書館施設等使用料後納申請書(別記第3号様式)を教育委員会に提出しなければならない。

(使用料の減額又は免除)

第21条 条例第14条の規定により使用料を減額することができる場合及びその減額の割合又は免除することができる場合は、次に定めるとおりとする。

- 1 都内の区市町村教育委員会が使用するとき 5割
- 2 都立を除く都内の幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校又は特別支援学校が主催する教育活動のために使用するとき 5割
- 3 官公署(教育委員会及び都内の区市町村教育委員会を除く。)が使用するとき 2割5分
- 4 前3号に掲げる場合のほか、教育委員会が特に必要があると認めるとき 教育委員会が定める割合

2 条例第14条の規定により使用料の減額又は免除の取扱いを受けようとする者は、東京都立多摩図書館施設等使用料減免申請書(別記第4号様式)を教育委員会に提出しなければならない。

(使用料の還付)

第22条 条例第15条ただし書の規定により使用料の全部又は一部を還付することができる場合は、条例第11条第4号又は第5号の規定により使用の承認を取り消し、

使用を制限し、又は使用の停止を命じたため、当該施設等の全部又は一部を使用することができなかった場合とする。

2 条例第15条ただし書の規定により使用料の全部又は一部の還付を受けようとする者は、東京都立多摩図書館施設等使用料還付申請書(別記第5号様式)を教育委員会に提出しなければならない。

(使用者の義務)

第23条 使用者は、全て館長の指示に従わなければならない。

第4章 補則

(委任)

第24条 この規則の施行について必要な事項は、東京都教育委員会教育長が定める。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、昭和62年4月1日から施行する。
(東京都立、立川、青梅、八王子図書館館則の廃止)

2 東京都立、立川、青梅、八王子図書館館則(昭和32年東京都教育委員会規則第27条)は、廃止する。

附 則(昭和63年教委規則第17条)

この規則は、昭和63年4月1日から施行する。

附 則(平成3年教委規則第18条)

この規則は、平成3年4月1日から施行する。

附 則(平成14年教委規則第27条)

この規則は、平成14年4月1日から施行する。

附 則(平成16年教委規則第24条)

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則(平成18年教委規則第34条)

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則(平成20年教委規則第75条)

この規則は、平成21年4月1日から施行する。

ただし、第6条の規定は、公布の日から施行する、

附 則(平成28年教委規則第46条)

この規則は、平成28年11月1日から施行する。

附 則(令和元年教委規則第2号)

1 この規則は、令和元年7月1日から施行する。

2 この規則の施行の際、この規則による改正前の東京都教育委員会規則の様式(この規則により改正されるものに限る。)による用紙で、現に残存するものは、所要の修正を加え、なお使用することができる。

附 則(令和5年教委規則第19号)

1 この規則は、令和5年7月1日から施行する。

2 この規則の施行の際、この規則による改正前の東京都立図書館館則の様式による用紙で、現に残存するものは、所要の修正を加え、なお使用することができる。

別表第1（第4条、第11条関係）

開館時間及び休館日		館の名称	中央図書館及び多摩図書館
開館時間	月曜日から金曜日まで		午前10時から午後9時まで。ただし、その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）第3条に規定する休日（以下「休日」という。）に当たるときは、午前10時から午後5時30分まで
	土曜日及び日曜日		午前10時から午後5時30分まで
休館日	年始		1月1日から同月3日まで
	年末		12月29日から同月31日まで
	設備等の保守点検日		毎月1日以内
	館内整理日		毎月第一木曜日。ただし、その日が休日又は他の休館日に当たるときは、第二木曜日
	特別整理期間		1年のうち12日以内

別表第2（第18条関係）

1 使用時間

区分	使用単位
月曜日から金曜日まで	午前、午後、夜間及び全日。ただし、その日が休日に当たるときは、午前及び午後
土曜日及び日曜日	午前及び午後

備考 使用単位は、午前は午前9時から正午まで、午後は午後1時から午後5時まで、夜間は午後6時から午後9時まで、全日は午前9時から午後9時までとする。

2 使用停止日

区分	使用停止日
年始	1月1日から同月3日まで
年末	12月29日から同月31日まで
設備等の保守点検日	1年のうち1日

別表第3（第19条関係）

区分			使用単位		金額
施設	セミナー ルーム	分割しないで 使用するとき。	午前		8,100円
			午後		10,800円
			夜間		8,100円
			全日		27,000円
		分割して使用 するとき。	1	午前	4,200円
				午後	5,600円
				夜間	4,200円
				全日	14,200円
			2	午前	3,800円
				午後	5,100円
				夜間	3,800円
				全日	12,800円
	講師控室	1	午前	300円	
			午後	400円	
			夜間	300円	
			全日	1,000円	
2		午前	300円		
		午後	400円		
		夜間	300円		
		全日	1,000円		
附帯設備	音響映像操作機器		一式1回	2,900円	
	液晶モニター		一式1回	120円	
	プロジェクター		一式1回	840円	
	ワイヤレスマイクセット		一式1回	240円	

（別記様式第1号から第5号までは、掲載省略。）

2 東京都立図書館沿革

- 明治 37. 3 東京市議会で通俗図書館の設置を決議
41. 11 東京市立日比谷図書館開館
- 大正 元. 9 東京市立図書館処務規程制定
4. 3 東京市立図書館館則及び同処務規程改正、日比谷図書館を中心とする東京市立図書館体制成立(19 館)
- 昭和 6. 4 東京市立図書館処務規程改正
18. 7 都制施行、都立図書館となる。
20. 5 都立日比谷図書館空襲焼失
22. 1 都立立川図書館開館
3 都立青梅図書館開館
24. 11 都立日比谷図書館再開
25. 10 都立日比谷図書館を除く、区部の都立図書館、区へ移管
30. 1 市立八王子図書館、都へ移管
2 都立日比谷図書館、養生館へ移転
32. 10 都立日比谷図書館新館開館
36. 4 都立日比谷図書館増改築、開館
37. 2 「東京都の公共図書館総合計画 1962」(都立日比谷図書館協議会答申)
38. 7 「東京都立日比谷図書館分館の建設について」(都立日比谷図書館協議会答申)
39. 3 東京都立図書館設置条例制定
43. 2 「都立日比谷図書館における司書職のあり方」(都立日比谷図書館協議会答申)
3 都立中央図書館(仮称)建設計画策定
44. 9 「東京都立図書館の整備充実計画」策定(都立日比谷図書館)
45. 6 「図書館政策の課題と対策」(都の公共図書館振興施策)を知事に報告(図書館振興プロジェクトチーム)
46. 12 「東京都立中央図書館の専門職員の養成に関する答申」(都立日比谷図書館協議会)
47. 3 東京都立中央図書館建設工事竣工
10 東京都立図書館設置条例一部改正(昭和 47 年 12 月 東京都立中央図書館設立)
11 「司書職制度を中心とした区立図書館振興対策」について知事に報告(図書館振興プロジェクトチーム)
12 都立江東図書館基本構想策定(図書館建設問題協議会)(東京都中期計画ー1972ーに組み入れる)
48. 1 都立中央図書館開館
48. 10 都立江東図書館基本計画策定(図書館建設委員会、建設調査会)
49. 6 「東京都立中央図書館における心身障害者サービスのあり方」について(都立中央図書館協議会答申)
9 「都立多摩センター図書館(仮称)構想」中間報告(多摩三館連絡会)
51. 3 東京都立図書館設置条例一部改正、東京都立江東図書館館則制定(昭和 51 年 4 月 東京都立江東図書館設立、昭和 51 年 6 月 開館)
53. 7 「都立図書館整備の方向と対策(中間報告)」(都立図書館のあり方検討委員会)
9 「多摩地区における都立図書館の将来構想」を教育長に報告(多摩地区都立図書館将来計画検討協議会)
56. 6 「都立図書館の体系化および近代化に関する中間答申」(都立中央図書館協議会)
57. 3 「都立図書館のあり方検討委員会第二次報告」(都立図書館のあり方検討委員会)
「都立中央図書館電算システム導入に関する基本構想」策定(都立中央図書館)
5 「都立図書館の体系化および近代化に関する答申」(都立中央図書館協議会答申)
「都立多摩図書館(仮称)検討報告書」(多摩三館連絡会)
11 「東京都多摩教育センター(仮称)基本計画概要」発表(教育庁)
12 「多摩教育センター内都立多摩図書館の具体的構想と課題」(多摩三館連絡会)
59. 8 「都立図書館電算システム基本計画」策定(都立中央図書館)
60. 3 都立図書館電算システム設計開始
61. 6 東京都立図書館設置条例の一部改正(昭和 61 年 10 月 東京都立江東図書館を江東区へ移管)
62. 3 東京都立図書館設置条例改正(名称変更: 東京都立図書館条例 昭和 62 年 4 月 東京都立多摩図書館設立)
5 都立多摩図書館開館

昭和 63. 3 都立図書館電算システム和図書稼動

10 都立図書館電算システム逐次刊行物(年鑑・年報)稼動

平成 元. 6 都立図書館電算システム洋書稼動

10 都立図書館電算システム逐次刊行物(新聞・雑誌)稼動

2. 3 「新日比谷図書館の機能について」(都立図書館協議会中間報告)

10 「新日比谷図書館の機能について」(都立図書館協議会答申)

4. 4 CD-ROMによる東京都図書館情報ネットワーク稼動

12 「都立図書館の資料の保存機能について」(都立図書館協議会意見)

7. 3 「都立中央図書館における当面の海外資料サービスのあり方について」(第17期東京都立図書館協議会意見書)

9. 3 「新日比谷図書館基本構想」(教育庁新日比谷図書館基本構想検討委員会)

「21世紀の都民生活を豊かにする都立図書館の創造―生涯学習社会における都立図書館の役割」(第18期東京都立図書館協議会答申)

10. 3 「東京都立図書館中期運営計画」策定(都立3館)

7 都立図書館処務規則全部改正

11. 10 「児童・青少年に対して図書館は何ができるか?―社会問題への図書館の関わり方」(第19期東京都立図書館協議会提言)

11 「資料保存計画」策定(東京都立図書館資料保存委員会)

東京都教育委員会「とうきょう親子ふれあいキャンペーン」=図書館活用講座実施

12 新電算システム移行に伴い目録カードの廃止、電算工事開始

12. 2 都立図書館新電算システム稼動

都立図書館ホームページ開設

3 「東京都立図書館情報サービス規程」制定

13. 4 政策立案支援サービスを全庁対象に実施

8 都立日比谷図書館耐震補強工事のため休館(平成14年2月まで、休館中に児童青少年資料を多摩図書館に移送)

10 「高度情報化社会における都立図書館のサービスのあり方―ITを活用したサービスの革新」(第20期東京都立図書館協議会提言)

11 都立図書館事務事業評価結果が出る。

14. 1 「今後の都立図書館のあり方～社会経済の変化に対応した新たな都民サービスの向上を目指して～」(都立図書館あり方検討委員会報告)

3 「東京都立図書館館則」「東京都立図書館処務規則」「東京都立図書館係設置に関する規定」の一部改正

4 都立中央・日比谷・多摩図書館の3館を組織統合し都立図書館として一体化運営を図る。

都立中央・多摩図書館入館年齢制限を撤廃

5 都立多摩図書館、児童・青少年サービスを開始

15. 3 「子ども読書活動推進をはかるために都立図書館は何をなすべきか」(第21期東京都立図書館協議会提言1)

6 都立中央図書館「ビジネス支援サービス」を開始(平成19年度から、「ビジネス情報サービス」に変更)

16. 2 「都内公共図書館発展のための連携協力について」(第21期東京都立図書館協議会提言2)

4 都立中央・多摩図書館開館時間を延長

6 都立中央図書館「医療情報サービス」を開始

17. 8 「都立図書館改革の基本的方向」(第二次都立図書館あり方検討委員会報告)

18. 3 「調査研究図書館におけるサービスのあり方について」(第22期東京都立図書館協議会答申)

7 都立中央図書館重点的情報サービス「法律情報サービス」を開始

8 東京都教育委員会「都立図書館改革の具体的方策」を公表

19. 3 東京関係資料の横断検索システム「東京資料サーチ」がスタート

7 都立中央図書館 新聞記事横断検索データベース(G-Search サービス)の有償提供の試行開始

9 都立図書館メールマガジン「都立図書館通信」の配信開始

20. 4 ワンストップサービスに向けて、都立中央図書館情報サービス課の8係を6係に組織改正

10 東京都教育委員会と千代田区教育委員会、都立日比谷図書館の千代田区移管に向けた基本的な方向性に

ついて合意

平成 20. 11 都立図書館創立 100 周年＜明治 41 年（1908）年 11 月 16 日、東京市立日比谷図書館として開館＞
「都立図書館のサービスと図書館改革の評価について」（第 23 期東京都立図書館協議会提言）
都立多摩図書館 都市・東京資料の集中化の方針に基づき、多摩地域資料を都立中央図書館に移管

- 12 「東京都立図書館条例」、「東京都立図書館館則」、「東京都立図書館処務規則」の一部改正
21. 1 都立中央図書館リニューアルオープン 記念企画展及び講演会等を実施
都立中央図書館「都市・東京情報サービス」を開始
- 3 都立日比谷図書館は、千代田区へ移管することに伴い、3 月 31 日まで開館し、4 月 1 日から移管準備作業のため休館（7 月 1 日移管）
- 4 都立中央図書館 複写受付時間の変更（午前 10 時から開始）
- 5 都立多摩図書館リニューアルオープン、「東京マガジンバンク」開設 記念展示及び講演会等を実施
- 7 都立日比谷図書館を千代田区へ移管
- 9 都立多摩図書館 外部倉庫に保管中の資料等の取り寄せサービスを開始
22. 1 「著作権法の一部を改正する法律」（平成 22 年 1 月 1 日）施行に伴い、視覚障害者以外にも、DAISY 図書や点字図書の貸出しを開始
都立中央図書館 文部科学省の呼びかけにより有志図書館で結成した「図書館海援隊」プロジェクトに参加
- 3 「都立図書館視覚障害者等サービス要綱」の改正
都立図書館ホームページで、資料の閲覧予約（取り置き）サービスを開始
- 8 東京都立図書館資料保存ガイドラインの策定
23. 3 東日本大震災被災地支援のため、サービス対象地域を一時的に拡大（～平成 23 年 12 月）
「デジタル時代の都立図書館像」（第 24 期東京都立図書館協議会提言）
- 10 ウェブサイト「江戸・東京デジタルミュージアム」を開設
- 11 東京都立図書館 Twitter を開始
- 12 図書館情報システムリニューアル。統合検索システムの導入、登録利用者サービスの開始
東京都立図書館 Facebook を開始
24. 7 都立中央図書館建物内全面禁煙化
- 10 電子新聞（2 タイトル）の閲覧を開始
25. 1 都の施設で初めて新電力の部分導入を実施
- 3 東京都立図書館資料防災マニュアルの作成
「都民の課題解決に役立つ図書館を目指してーより質の高い図書館サービスの追求ー」（第 25 期東京都立図書館協議会提言）
- 5 ウェブサイト「東京都立図書館デジタルアーカイブ（TOKYO アーカイブ）」を開設
- 12 都立中央図書館タブレット端末による電子書籍サービスの試行開始
26. 1 「国立国会図書館デジタル化資料送信サービス」の館内利用開始
- 2 ウェブサイト「東京都立図書館デジタルアーカイブ（TOKYO アーカイブ）」機能追加
27. 2 都立国際高等学校の国際バカロレア認定取得に向けた図書室改善整備のため、都立中央図書館から職員を派遣
- 3 「読書活動の推進に向けた都立図書館の役割について」（第 26 期東京都立図書館協議会提言）
- 4 「都立多摩図書館の移転について」（施設概要、サービス展開予定等）を教育委員会に報告
「今後 3 か年の重点目標」を設定
- 7 都立中央図書館 カフェコーナーを 1 階にオープン
28. 2 「都立図書館改善の方策」を策定
- 8 都立多摩図書館建設工事竣工
- 10 「東京都立図書館条例」、「東京都立図書館館則」、「東京都立図書館処務規則」の一部改正
- 12 都立中央図書館 2020 年に向けた新展示コーナー（オリンピック・パラリンピック、伝統・文化、Books on Japan）を開設
29. 1 都立多摩図書館移転開館（開館時間の延長、セミナールームの貸出開始）
- 2 「世界都市・東京を支える情報センターを目指して-2020 年とその先に向けた提言-」（第 27 期東京都立図

書館協議会提言)

平成 29. 10 「東京都立図書館の入館時における持込み手荷物の制限の緩和について」 試行的実施

11 「東京都立図書館アドバイザー」の委嘱開始

都立中央図書館 「キッズルーム (授乳室付き)」を開設

都立中央図書館 カザフスタン共和国との図書国際交換に伴う贈呈式を実施

30. 1 「都立図書館実行プラン to 2020」策定

2 都立中央図書館 謎解きイベント「Live-Rally」を初開催

3 都立中央図書館 「調査研究ルーム」・「グリーンビューシート」を開設

6 都立中央図書館 5階の「音声映像資料室」を「音声・映像コーナー」にリニューアルして1階に移転

9 都立中央図書館 「交流ルーム」、「コミックコーナー」を開設

10 「Old meets New 東京 150 年」事業「東京 150 年祭」(浜離宮恩賜庭園)に出展

31. 2 平成 30 年度都立図書館のニーズに関する実態調査報告書を発行

31. 3 「これからの都立図書館に必要な利用環境について」(第 28 期東京都立図書館協議会提言)

令和 元 7 都立図書館ホームページに「平成 30 年度都立図書館のニーズに関する実態調査報告書」と「平成 30 年度都立図書館利用実態・満足度調査」報告書を掲載

10 令和元年台風第 19 号の関東地方上陸により、10 月 12・13 日を臨時休館とする。

2. 2～5. 5 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策下における館運営については、『事業概要 令和 5 年度版』p. 28～30「都立図書館 新型コロナウイルス感染症対策の経緯 令和 2 年 2 月～令和 5 年 5 月」を参照

3. 2 「都立図書館実行プラン 2021-2023 AI 時代の都立図書館へのファーストステップ」策定

3. 3 「都立図書館在り方検討委員会 最終報告～AI 時代の都立図書館像～」

「都立図書館ならではのサービスを考えるー保有する情報資源の一層の活用を目指してー」(第 29 期東京都立図書館協議会提言)

3. 11～4. 1 都立中央図書館 工事等に伴う来館サービスの休止 (11/11～1/6)

(11/15～12/28 は非来館サービス等を実施)

4. 1 都立中央図書館 1 階中央ホールの展示コーナーを「話題の洋書コーナー」にリニューアル

都立中央図書館 Tokyo2020 アーカイブ資産展示コーナーを開設

チャットボットサービス「都立図書館利用案内 Q&A」を開始

動画「6 秒でわかる都立図書館」を東京動画で公開

4. 6 来館による複写サービス窓口での交通系電子マネーの取扱いを開始

4. 8～5. 3 都立中央図書館 天井改修工事等に伴う来館サービスの縮小 (8/5～3/15)

(12/19～1/11 はシステム更新のため、2/21～3/14 は閲覧室等の復旧のため、臨時休館)

4. 9～5. 3 都立多摩図書館 空調設備改修工事等に伴う来館サービスの縮小 (10/1～3/19)

(12/19～1/11 はシステム更新のため、2/21～3/19 は閲覧室等の復旧のため、臨時休館)

4. 10 「東京 2020 アーカイブ資産 (一般公開文書)」の閲覧を開始

4. 11 「東京都立図書館デジタルアーカイブ (TOKYO アーカイブ)」と「ジャパンサーチ (JAPAN SEARCH)」の連携を開始

5. 1 データベース/調査研究ルームの利用予約システムを導入

大学図書館への貸出事業を実施

5. 2 東京都立図書館 Twitter を東京都カテゴリー別公式アカウント「東京都 子供・教育」に統合

5. 3 東京都立図書館ディスカバリーサービスを導入

「都立図書館の DX とその先にあるサービス」(第 30 期東京都立図書館協議会提言)

やさしい日本語版ホームページを公開

5. 4 尾木直樹氏が都立図書館名誉館長に就任

5. 6 館内デジタルサイネージでバーチャル書架「Digital BookShelf」を公開

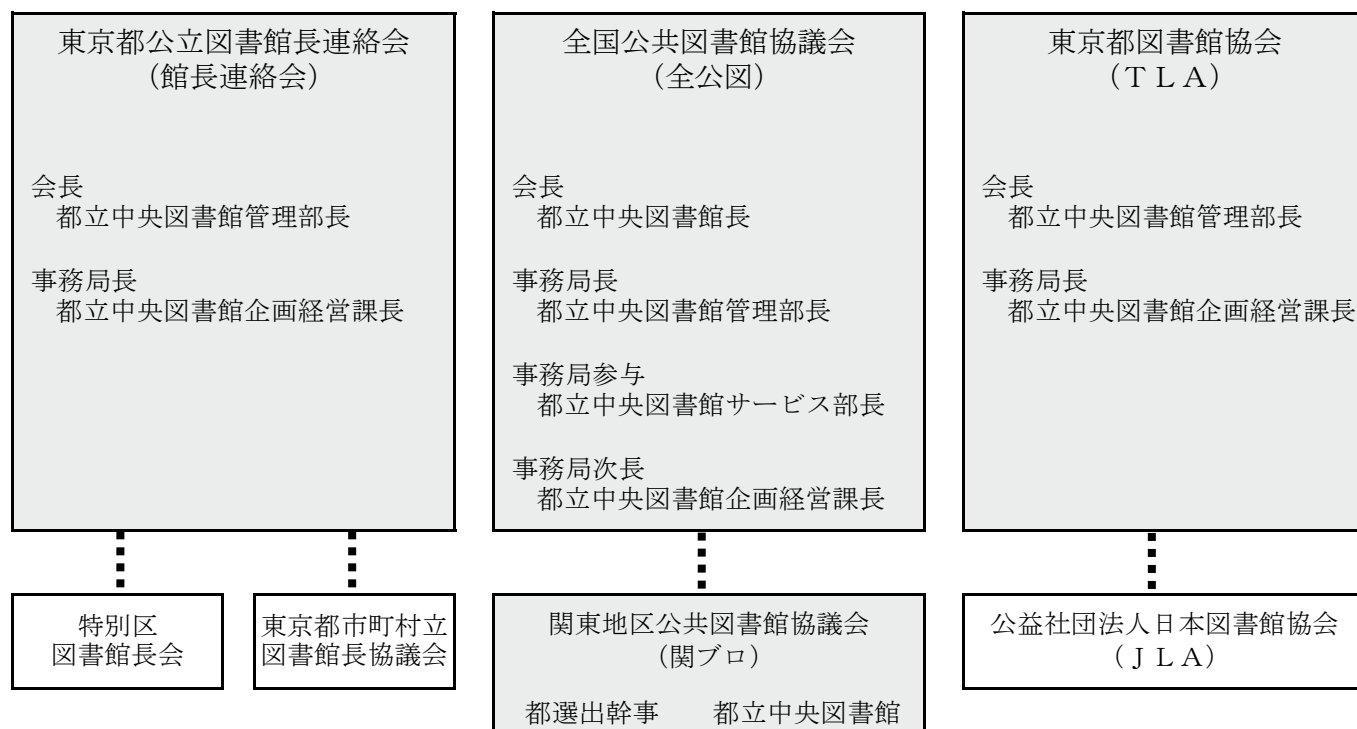
5. 12 インターネットでバーチャル書架「Digital BookShelf」を公開

6. 3 やさしい日本語版の利用案内を発行

6. 3 所蔵資料紹介型 AI チャットボット「AI ChatShelf」の試行提供を開始

3 図書館関係団体・組織一覧

(令和6年4月1日現在)



(1) 東京都公立図書館長連絡会 (館長連絡会)

都内公立図書館相互の連絡を密にし、都内における図書館事業の発展のため、必要な連絡、調整及び情報交換を行うことを目的に、東京都公立図書館長連絡会設置要綱(17中図管企第74号)により、平成17年6月に設置された。当館管理部長及び各区市町村の中心館長をもって組織され、会長には、当館管理部長、副会长には、特別区図書館長会幹事長及び東京都市町村立図書館長協議会会長が充てられている。

(2) 全国公共図書館協議会 (全公図)

全国の公共図書館相互の連絡を密にし、図書館に関する調査研究を行い、図書館の発展を図ることを目的に、昭和45年6月25日に設置された。会長、副会長は、理事の互選として総会において承認されるが、慣例として、会長等には、上記のとおり当館職員が就任している。

(3) 東京都図書館協会 (TLA)

都内の図書館及び類縁機関並びに、これらに関係する者の連絡を図り、図書館事業の発展向上と会員相互の交流を深めることを目的に、昭和24年7月に設置された。会長等役員は、総会において選出されるが、慣例として、会長等には、上記のとおり当館職員が就任している。

(4) 関東地区公共図書館協議会 (関ブロ)

関東地区内の公共図書館の連絡を密にし、図書館事業を推進することを目的に、昭和29年4月に規約が制定された。当館は、役員(都選出幹事)として参画している。

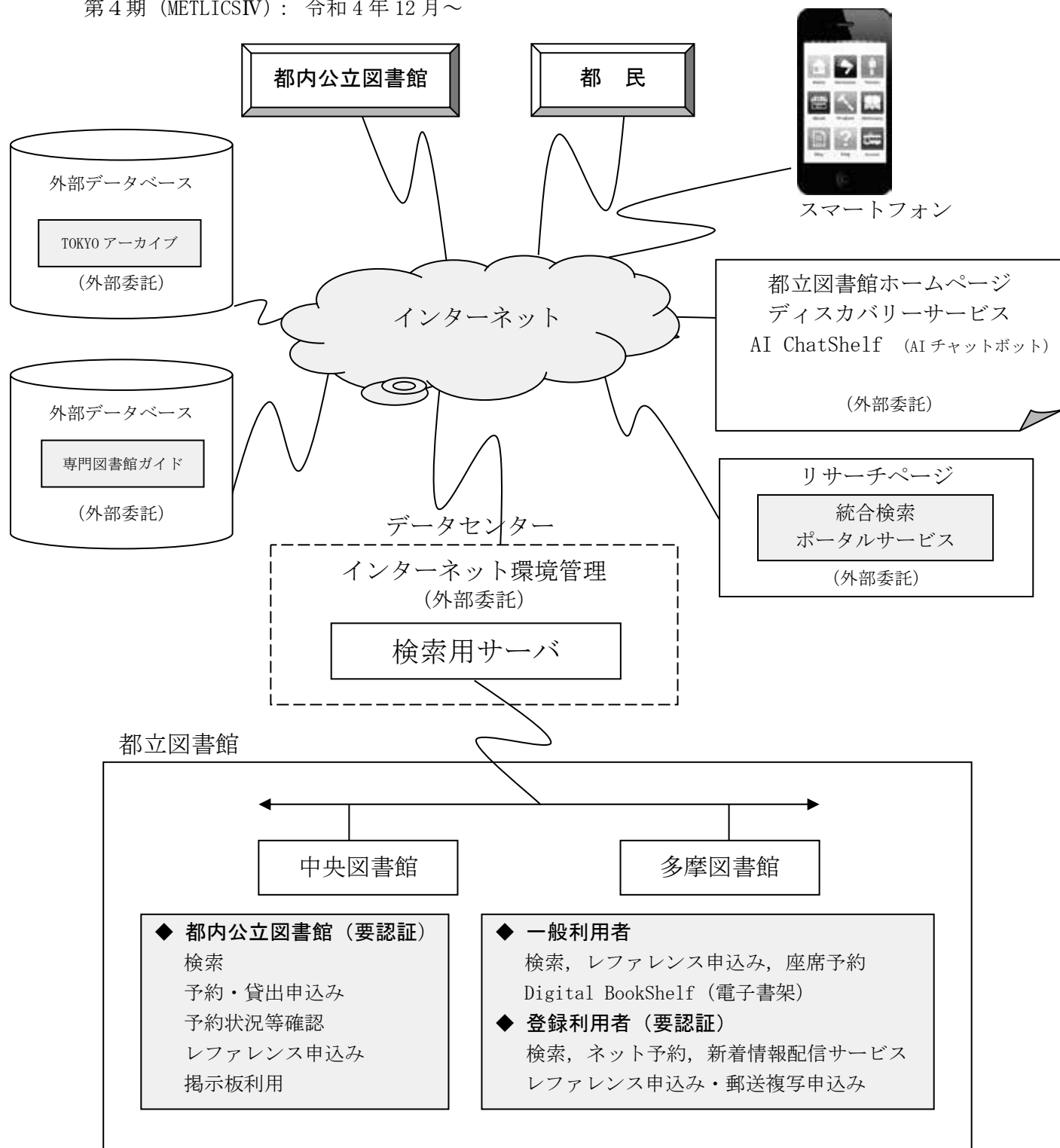
4 東京都立図書館ネットワーク概念図

第1期 (METLICS I) : 昭和 63 年 3 月～

第2期 (METLICS II) : 平成 12 年 2 月～ 平成 17 年 6 月に機器更新

第3期 (METLICS III) : 平成 23 年 12 月～ 平成 28 年 12 月に機器更新

第4期 (METLICS IV) : 令和 4 年 12 月～



Web 方式のシステム

- ・ サーバ : 5 台
- ・ クライアント : 206 台

業務用 : 142 台 (中央 107 台、多摩 35 台)
利用者用 : 64 台 (中央 45 台、多摩 19 台)

5 東京都立図書館シンボルマーク

都立図書館の広報戦略の一環として、平成 22 年度に、都立図書館シンボルマーク作成のために、都立高等学校の生徒を対象としてデザインの募集を行った。70 名の生徒から 250 点の提案を受け、選考によりシンボルマークを決定した。

以下の 4 種類を広報活動等に活用している。

共通 シンボルマーク		中央図書館・多摩図書館の両館にまたがる事業で使用
中央図書館 シンボルマーク		中央図書館が実施する事業で使用
多摩図書館 シンボルマーク 1		多摩図書館が実施する事業で使用 (ただし、児童青少年資料サービス及び子供読書推進活動に関する事業を除く。)
多摩図書館 シンボルマーク 2		多摩図書館の児童青少年資料サービス及び子供読書推進活動に関する事業で使用

6 ホームページ及びソーシャルメディア

東京都立図書館ホームページ

<https://www.library.metro.tokyo.lg.jp/>



携帯電話等からのアクセス

- ホームページの携帯用サイト
https://www.library.metro.tokyo.lg.jp/feature_phone/
- スマートフォンからの蔵書検索
<https://catalog.library.metro.tokyo.lg.jp/winj/sp/top.do>

東京都立図書館 Facebook

<https://www.facebook.com/tmlibrary>

メールマガジン「都立図書館通信」

ホームページからご登録ください。

7 フロア概要

(1) 中央図書館

中央図書館は、有栖川宮記念公園の高台にあります。5階建ての図書館は、銀杏、メタセコイヤ、樺、桜などたくさんの樹木に囲まれ、四季折々に落ち着いた佇まいを見せています。

1階

○ 利用者玄関ホール

受付カウンターで受け取る「入館証」は、書庫内資料やインターネットパソコン等の利用に用います。

○ 中央ホール

＊総合案内・相談カウンター

司書職員が資料の探し方や調べ方などの相談に応じます。

＊資料お渡し・返却カウンター

書庫内資料の出納を行います。

＊複写受付カウンター

＊話題の洋書コーナー（令和5年3月リニューアル）

日本の伝統・文化や観光情報を紹介する洋書「Books on Japan（日本に関する洋書）」のほか、各分野の新着洋書、書評誌等で取り上げられた海外の「話題の本」、洋雑誌などを集めて、タイムリーに提供しています。

○ 重点的情報コーナー

＊ビジネス情報コーナー

ビジネスに役立つ企業情報・業界情報等を中心に、資格取得や就職活動に役立つ資料も備えています。

＊法律情報コーナー

法律関係の基本図書や、相続・遺言、交通事故等の身近な法律テーマに対応した資料を備えています。

＊健康・医療情報コーナー

病気や薬、病院情報など、健康・医療について調べたいときに役立つ資料を備えています。また、介護を始める時に読む本、介護技術の本、予防の本、制度・施設の本など約160冊を置く「介護応援コーナー」を設置しています。

＊闘病記文庫

闘病体験記録約890冊を備えています。

○ 新聞閲覧コーナー

全国紙、スポーツ紙、業界紙、各県の地方新聞など、最新の3か月分程度が自由に閲覧できます。新聞縮刷版や官報の一部、和雑誌約20誌も備えています。

過去の新聞（約500紙）や、一般週刊誌以外の雑誌（約4,000誌）、マイクロ資料は、すべて書庫にあります（雑誌は一部、重点的情報コーナーに備えているものがあります。）。

○ 都市・東京情報コーナー

東京都の行政資料（都・区市町村発行）及び東京に関する資料を集め提供しています。また、「都市計画」「海外都市」「都市の産業」など、都市に関する資料を10のテーマ別に配置し、「都市」に関する情報を提供しています。



▲中央図書館



▲話題の洋書コーナー



▲都市・東京情報コーナー

開架図書は約 40,900 冊です。東京関係の雑誌約 20 誌、都市に関する雑誌約 35 誌も備えています。

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会で使用された競技用具や記念品などのアーカイブ資産を展示する「東京 2020 アーカイブ資産展示コーナー」があります。

○ 音声・映像コーナー

図書や雑誌だけでは調査が不十分なものや、十分な理解が得られないものなどを補うために、レコード、コンパクトディスク、録音テープ、レーザーディスク、ビデオテープ、DVD 等、約 18,400 点を所蔵しています（4 席）。

○ カフェコーナー

緑に囲まれながら、休息のひと時をお楽しみいただけます。

2 階

○ 社会・自然科学系 資料・閲覧室

情報科学、政治、経済、財政、統計、社会学、教育、自然科学、工学、農林水産業、商業、交通、通信等の図書約 11 万冊を開架しています。また、JIS（日本産業規格）、JAS（日本農林規格）、ISO（国際規格）、重要文化財等の修理工事報告書約 1,500 冊を備えています。

3 階

○ 人文科学系 資料・閲覧室

図書館学、哲学、歴史、地理、風俗習慣・民俗・民族、芸術、スポーツ、語学、文学等の図書約 21 万冊を開架しています。全国でも有数の「地方史コーナー」では、県史・市町村史約 3 万冊を自由に閲覧できます。美術資料を集めた一角では、約 1 万冊の大型美術書をゆったり楽しむことができます。

「日本語学習コーナー」では、約 400 冊の日本語学習用資料を言語別・テーマ別に展示しています。

また、人名事典・名簿・肖像などの人物に関する情報や、様々な分野の参考図書と新刊図書を中心とする約 1 万冊の中国語資料や韓国・朝鮮語資料があります。

○ 視覚障害者サービス室

視覚障害者等に対して、対面音訳、録音図書の製作・貸出、点字図書の製作・貸出を行っています。

対面音訳室は 4 室あり、録音図書（デイジー図書を含む）6,260 点、点字図書 748 点、点字雑誌 10 種、録音雑誌 21 種等の資料が利用できます。

また、利用者自身が音の出るパソコンを使って調べものをすることもできます。

4 階

○ 閲覧室

ほぼ全席にパソコン用の電源があります。

○ 企画展示室

東京や都立図書館の魅力を発信するテーマを設けて、大型の企画展示をタイムリーに開催しています。

○ グループ閲覧室

図書館の資料を活用しながら、グループでの学習・調査研究活動に利用できます。

○ 多目的ホール

図書館関係の各種研究大会、会議、講演会等に使用されます。



▲企画展示室

5 階

○ 閲覧室

静かな環境で調べものや読書をするための閲覧室で、パソコンの使用はできません。

○ グリーンビューシート

有栖川宮記念公園の樹木を一望しながら、ゆったりとくつろぎながらリフレッシュできる空間です（12 席）。

○ 特別文庫室

東京誌料、加賀文庫、市村文庫、諸橋文庫等の資料約 243,000 点（冊）をすべて書庫に保管し、資料請求票に基づき利用に供しています。

また、資料のデジタル化事業を進め、保存と有効活用を図るとともに、ホームページの「東京都立図書館デジタルアーカイブ（TOKYO アーカイブ）」で一部を公開しています。

○ 調査研究ルーム

全席パーテーション付きの電源のある個人席です。また、豊富な資料を活用して、従来にはないセカンドオフィスや書斎として利用できます（19 席）。

○ 交流ルーム

図書館の資料を利用し、グループで自由に議論しながらの調査研究や異業種交流等の場として利用できる閲覧室です。机の配置なども自由に変更でき、学校活動におけるアクティブラーニングなどにも活用できます（36 席）。

○ キッズルーム（授乳室付き）

お子様連れの方々も気兼ねなく図書館をご利用いただけるよう、授乳用の椅子やおむつ交換台も用意しています。

○ カフェテリア

東京タワーや六本木のビル群が一望でき、夜景も楽しめます。食事をしながらくつろいでいただけます。

＝各階＝

◆ 蔵書検索パソコン・オンラインデータベース用パソコン

各階に蔵書検索パソコン、1 階にはオンラインデータベース用、インターネット用パソコンを設置しており、図書と併せて利用することができます。

◆ 新着図書コーナー

1 階から 3 階の入口付近に、新着図書を展示しています。

◆ パソコンの利用

1 階から 4 階の閲覧席、5 階調査研究ルーム・交流ルームで、持参したパソコンを利用できます。

◆ 無料 Wi-Fi（TOKYO FREE Wi-Fi）

1 階から 4 階の閲覧室、5 階カフェテリア・調査研究ルーム・交流ルームで無料 Wi-Fi（TOKYO FREE Wi-Fi）が利用できます。

◆ デジタルサイネージ

各階にデジタルサイネージを設置しており、図書の配置場所やフロアマップ、イベント情報など、様々なサービスの情報を見ることができます。

◆ 案内ホットライン

3 階には、案内ホットライン専用電話が設置しており、司書職員を呼んで相談することができます。

◆ バリアフリー対応等

- ・ 1 階受付で、車椅子の貸出をしています。
- ・ 1 階新聞閲覧コーナー、2 階資料・閲覧室、3 階視覚障害者サービス室に、拡大読書器があります。
- ・ 1 階と 2 階の多目的トイレには、おむつ替え用ベッド、3 階多目的トイレには、オストメイト対応設備があります。
- ・ 1 階と 4 階に AED を設置しています。

【各階の閲覧席数】

1 階	中央ホール	16
	重点的情報コーナー	41
	新聞閲覧コーナー	32
	都市・東京情報コーナー	28
	音声・映像コーナー	4
2 階	資料・閲覧室	198
3 階	資料・閲覧室	276
4 階	閲覧室	164
	グループ閲覧室	24
5 階	閲覧室	72
	グリーンビューシート	12
	特別文庫室	10
	調査研究ルーム	19
	交流ルーム	36

【建物概要】

昭和 47 年 3 月	竣工
昭和 48 年 1 月	新築、開館
平成 7 年 7 月～平成 8 年 5 月	施設・設備改修
平成 20 年 5 月～12 月	施設・設備改修
鉄筋鉄骨コンクリート	地上 5 階、地下 2 階
敷地面積	9,157.21 m ²
延べ床面積	延 23,196.21 m ²
収蔵可能冊数	約 208 万冊（うち、開架約 35 万冊）
閲覧席	932 席（スツール席含め、1,066 席）
敷地内全面禁煙	

(2) 多摩図書館

多摩図書館は、「森の中の本の森」をコンセプトに、緑豊かな周辺環境との調和と環境への配慮を実現し、平成 29 年 1 月、立川市から国分寺市に移転オープンしました。

○ 総合案内

入館証の受け渡しやセミナールームの予約受付のほか、周辺・都内の観光情報の提供も行っています。

○ 相談カウンター

司書職員が資料の探し方や調べ方などの相談に応じます。

○ 資料お渡し・返却カウンター

書庫内資料の閲覧、返却を受け付けます。

○ 蔵書検索・インターネット

蔵書検索、インターネット閲覧に加え、30 種類以上の各種オンラインデータベースを利用して雑誌記事や論文情報などの検索ができます。

○ 展示エリア・展示ウォール

図書館で所蔵している資料を使い、様々なテーマで企画展示を行います。

○ 新聞エリア

全国紙、地方紙、スポーツ紙、外国語紙など、最新約 1 か月分の新聞 40 紙を配架しています。新聞のマイクロフィルムを見ることもできます。



▲多摩図書館



▲雑誌エリア

○ 雑誌エリア

継続して収集している雑誌約 6,000 タイトルのうち、約 1,500 タイトルの最新約 1 年分を配架しています。

このうち、日本語雑誌は 50 のジャンル別に約 1,100 タイトル、外国語雑誌は 12 か国語約 400 タイトルを備えています。

○ 参考図書エリア

辞典、事典類や地図など約 3,300 冊の参考図書を備えています。

○ 青少年エリア

中学生、高校生世代が楽しめる本や、学習に役立つ資料を約 23,900 冊揃えています。異文化交流や海外体験など、世界へ目を向けるきっかけになるような資料や、職業や進路の参考になる本や情報など、様々な角度から本を展示しています。

○ 児童研究書エリア

子供の本について研究した資料や、子供の読書に関する資料が約 10,500 冊あります。

子供の読書活動推進及び学校での読書活動を支援するために、都立多摩図書館が作成した様々なブックリストやガイドブックも紹介しています。



▲青少年エリア



▲こどものへや

○ こどものへや

約 13,400 冊の絵本や文学、知識の本、外国語の児童書などを揃えています。専用のカウンターを設置し、子供の読書に関する相談に対応しています。

○ えほんのこべや

大型絵本、紙芝居もある絵本コーナーです。靴を脱いでコルク床に座りながら、ゆっくりと絵本を楽しむことができます。

○ グループ閲覧室

グループで図書館の資料を使い、学習・調査研究活動ができます。貸切で利用することもできます。

○ 開架書庫

入室して利用できる書庫です。継続して収集している雑誌のうち、約 4,500 タイトルの最新 1 年分があります。

また、新着 1 年分の児童書などを揃えた選書コーナーを設置し、学校や公立図書館での選書を支援しています。さらに、日本語で書かれた絵本約 38,000 冊があります。

○ 対面音訳室

視覚障害者等に対して、対面音訳及び録音資料の製作・貸出を行っています。

○ セミナールーム

研修会や講習会等に利用できる、約 200 名収容可能な有料貸出施設です。

○ カフェスペース

飲食ができるスペースです。ゆっくりと休憩することができます。

◆ パソコンの利用

閲覧席、カフェスペースで、持参したパソコンを利用できます。

◆ 無料 Wi-Fi (TOKYO FREE Wi-Fi)

閲覧席、カフェスペース、セミナールームで利用できます。

◆ デジタルサイネージ

エントランスと閲覧室にデジタルサイネージを設置しており、図書の配置場所やフロアマップ、イベント情報など、様々なサービスの情報を見ることができます。

◆ バリアフリー対応等

- ・総合案内で、車椅子の貸出をしています。
- ・「相談カウンター」や「こどものへやカウンター」で、筆談等の対応をします。
- ・「こどものへやカウンター」でベビーカーの貸出しをしています。
- ・オストメイト対応設備があるトイレのほか、親子で利用できるトイレや授乳室があります。
- ・入口に AED を設置しています。

【建 物 概 要】

平成 28 年 8 月 竣工
 平成 29 年 1 月 移転開館
 鉄筋鉄骨コンクリート 地上 3 階
 敷地面積 7,216.74 m²
 延べ床面積 延 8,982 m²
 収蔵可能冊数 約 285 万冊 (うち、開架 10 万冊)
 閲覧席 227 席
 敷地内全面禁煙

8 案 内 図

中央図書館

都立図書館の中心館として、豊富な資料で調査研究活動を支援するレファレンスサービスなど、様々な情報サービスを行っている。

資料の個人館外貸出は行っていない。

- 開館時間

月～金曜日	午前10時～午後9時
土・日・祝・休日	午前10時～午後5時30分

 ただし、
 - ・特別文庫室 午前10時～午後5時30分

- 休館日
 - ・館内整理日 毎月第1木曜日（祝・休日又は他の休館日に当たる場合は第2木曜日）
 - ・設備等の保守点検日 毎月1回
 - ・特別整理期間 年間12日以内
 - ・年末年始 12月29日～1月3日



中央図書館

〒106-8575 港区南麻布 5-7-13（有栖川宮記念公園内）
電話 03-3442-8451（代）

- 【交通】
- ・東京メトロ日比谷線 広尾駅 徒歩8分
 - ・東京メトロ南北線・都営地下鉄大江戸線 麻布十番駅 徒歩20分
 - ・東京メトロ日比谷線・都営地下鉄大江戸線 六本木駅 徒歩20分
 - ・都バス 橋86系統 目黒駅前～新橋駅前・東京タワー 愛育クリニック前 徒歩2分
 - ・港区コミュニティバス（ちいばす） 麻布西ルート97 愛育クリニック 徒歩2分 101-2 本村小学校入口 徒歩3分

多摩図書館

雑誌、児童・青少年資料の閲覧及び16ミリフィルムの団体貸出などのサービスを行っている。

資料の個人館外貸出は行っていない。

- 開館時間

月～金曜日	午前10時～午後9時
土・日・祝・休日	午前10時～午後5時30分

- 休館日
 - ・館内整理日 毎月第1木曜日（祝・休日又は他の休館日に当たる場合は第2木曜日）
 - ・設備等の保守点検日 毎月1回
 - ・特別整理期間 年間12日以内
 - ・年末年始 12月29日～1月3日



多摩図書館

〒185-8520 国分寺市泉町 2-2-26
電話 042-359-4020

- 【交通】
- ・JR中央線・武蔵野線 国分寺駅南口 徒歩7分
 - ・京王バス 寺85系統（総合医療センター～国分寺駅南口～小平団地） いずみプラザ前 徒歩5分
 - ・ぶんバス 万葉・けやきルート、北町ルート、日吉町ルート 国分寺駅東 徒歩4分

事業概要 令和6年度版

登録番号（6）第1号

主要刊行物指定

令和6年7月29日 発行

編集・発行 東京都立中央図書館

〒106-8575 東京都港区南麻布五丁目7番13号

電話 03-3442-8451(代)

印刷会社名 シンソー印刷株式会社

リサイクル適性[®]

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

